

2018（平成30）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第19号



二〇一八（平成三十年度）

沖縄県平和祈念資料館年報

第十九号

沖縄県平和祈念資料館



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2018（平成30）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第19号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：平成30年度 第28回児童・生徒の平和メッセージ展

図画部門 小学校低学年の部

最優秀賞「カラフルおひさま」

糸満市立真壁小学校1年 たまき そうま

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌（抄）	4
3 施設	7
4 組織	10
5 決算	16
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	17

II 調査研究事業

1 特別企画展のための研究調査	18
2 日本平和博物館会議	19

III 展示企画事業

1 常設展	20
2 企画展	
（1）特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」	23
（2）子ども・プロセス企画展	24
（3）平成30年度ギャラリー展	26

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	28
2 資料貸出	
（1）写真パネル・実物その他	28
（2）証言映像の貸出	30
3 撮影・掲載等利用一覧	31

V 教育普及事業

1 教育普及行事

（1）第28回「児童・生徒の平和メッセージ展」	35
（2）親子ビデオ上映会及び沖縄戦関連ビデオ上映会	37
（3）夏休み子ども向け企画	37

2 教育機関との連携

（1）平和講話	39
（2）離島・遠隔地講師派遣事業	39
（3）生徒・学生の職場体験（インターンシップ）	40
（4）沖縄少年院連携事業	41
（5）大学連携事業	41

3 講座・講習会・研修会

（1）特別講座	42
（2）沖縄県平和祈念資料館講習会	43
（3）平成30年度沖縄県博物館協会・春の研修会	43
（4）平成30年度沖縄県地域史協議会	44
（5）県立学校初任者研修会における講義	45
（6）中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修	45
（7）初任者研修における講義	45
（8）「島守の塔」慰霊継承新採用職員における講義、館内視察研修	45
（9）「世界青年の船」受入事業	46

VI	広報活動・出版等 刊行物	47
VII	その他の事業	
1	「戦世の記憶」平和発信強化事業	48
2	第5回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」	50
VIII	入館者状況	51
1	月別入館者数	
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
4	市町村別団体入館者数	
5	都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	56
1	概要	
2	施設	
3	事業概要	
4	月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	63
1	活動内容	
2	申込方法	
3	申込条件	
4	平成30年度講話・ガイド活動実績件数	
5	平成30年度活動内容	
X I	関係条例・規則・要綱	65
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
X II	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	73

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。おかげさまで2019年4月には、750万人の来館者を達成することができました。

常設展示は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示していますが、展示をより深く理解してもらうために、県内小・中・高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。平成30年度は、137回実施しており、資料館での平和講話が児童・生徒の平和学習には重要な存在になっています。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ」が28回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の平和学習の一環として定着しつつあります。平成30年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数2,447点の作品応募がありました。「詩」部門の中学校の部最優秀作品「生きる」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。本年度の優秀作品は、昨年を引き続き県内各地だけでなく、ハワイでも展示され好評を博し、国内外の多くの人々に「平和の心」を発信しました。

展示活動では、特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」を開催しました。

本企画は、戦没者のみならず生存者も被害者であるとの観点に立ち、日米両軍の凄まじい戦闘によりあらゆるものが破壊された沖縄の姿について展示しました。「命を奪われた人びと」「生きぬいた人びと」「物的被害」の3つの側面から、沖縄戦による戦争被害について紹介し、戦争がおこると犠牲になるのは多くの一般住民であることを認識してもらうとともに、戦後74年が経過し、沖縄戦の悲劇と戦後の苦難を乗り越えた体験者が少なくなる中で、戦争を体験していない世代が、戦争の体験や教訓と平和の尊さをどのように継承していけるのかを考えていただく機会として実施しました。

子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等をテーマとし、子どもたちの視点にたった企画展を、年間4回実施しました。

ギャラリーでは、当館非常勤職員（博物館学芸員）による「沖縄戦の記憶と記録」や「米軍記録写真が切り取った「沖縄の人びとの（破壊された）生活風景」そのかけらを探して一住居（民家）編」などのミニ企画展を実施しました。

八重山平和祈念館では、特別企画展及び児童・生徒の平和メッセージ展のほか、夏休み企画「平和についての調べ学習コーナー」、11月企画展「こどもと戦争～愛され、護られるべき小さき人たち～」展を開催しました。さらに平和学習実践力向上のために学校教員を対象とした館の見学会も実施しました。

平成30年度の活動内容は以上でございますが、当館及び八重山平和祈念館を「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“場”として益々ご利用、ご活用いただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

令和元年6月

沖縄県平和祈念資料館
館長 外間 裕 朋

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	2014 (平成26) 年3月
國仲 功	2014 (平成26) 年4月	2016 (平成28) 年3月
原田 直美	2016 (平成28) 年4月	2019 (平成31) 年3月
外間 裕朋	2019 (平成31) 年4月	

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) (株) 沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市 (～27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(～23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(～12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営：沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(～2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(～3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(～3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託(～H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(～H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(～10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」(～H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (～2015年3月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館

2014 (平成26) 年度	2月7日	入館者600万人達成
2015 (平成27) 年度	10月10日	デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016 (平成28) 年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※JICA草の根技術協力事業(～2017年6月)
2017 (平成29) 年度	4月19日	李俊揆 (イ ジュンギョ) 駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察

[主な企画展等、その他催し]

2000 (平成12) 年度	企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
2001 (平成13) 年度	特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
2002 (平成14) 年度	企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2003 (平成15) 年度	企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2004 (平成16) 年度	特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2005 (平成17) 年度	特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2006 (平成18) 年度	特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2007 (平成19) 年度	特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクセー)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
2008 (平成20) 年度	特別企画展「カンポーンクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
2009 (平成21) 年度	特別企画展「イクサユースワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
2010 (平成22) 年度	特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネディスカッション」、「N AHAマラソンの道」～走る道、逃げる道～展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)

- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」一逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチュウ』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
- 2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュウが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウミイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーズトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
- 2015(平成27)年度 特別企画展『ウチナーンチュウが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会 企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
- 2016(平成28)年度 特別企画展『ウチナーンチュウが見た満洲～『旧満州国』『偽満州国』～』児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所) 子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2017(平成29)年度 特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やししが～』 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、 子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、 第24回日本平和博物館会議(当館開催)
- 2018(平成30)年度 特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所、国外1カ所) 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」 新企画展「ギャラリー展」(4回) 子ども・プロセス企画展(4回) 沖縄県平和祈念資料館講習会

2 日誌(抄) 2018(平成30)年度

- 4月4日 平和講話等利用説明会
 4月18日 委員監査
 4月26日 バングラデシュ大使視察
 // 新潟県議会視察
 // 児童・生徒の平和メッセージ事業委託業者入札会
 5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会(106名)
 5月8日 第1回中堅教諭等資質向上研修会(島尻教育事務所)

- 5月10日 県立学校初任者研修会 大会議室
5月18日 九州地方教育長協議会視察
5月25日 八重山平和祈念館運営協議会
〃 沖縄地域史協議会総会
5月28日 第1回子ども・プロセス企画展（～7月10日）
「母と子が見た沖縄戦」 観覧者数 16,556名
5月29日 島尻地区中学校教科主任研修会（社会）
6月2日 「マブニ・ピース・プロジェクト沖縄2018」開催（～25日）
6月6日 第1回ギャラリー展「戦世の記憶と記録」（～8月29日）
6月8日 第1回「島守の塔」継承事業に係る県新採職員研修
〃 第28回児童・生徒の平和メッセージ展入選者発表（本庁）
6月9日 第12回千羽鶴引渡し式（主催：千羽鶴未来プロジェクト沖縄会議）
- 6月22日 韓国済州島関係者館長表敬訪問
6月23日 第28回児童・生徒の平和メッセージ展開催（～7月6日）
〃 開館時間1時間延長（入館者3,333名）
〃 慰霊の日ビデオ上映会（285名）
〃 高雄老兵文化協会館長表敬訪問
7月1日 台風のため閉館（～2日 12:00まで）
7月10日 台風のため閉館
7月13日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（八重山平和祈念館～22日）
7月17日 館内等燻蒸作業のため臨時休館（～19日）
7月20日 イラク大使視察
第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ！夏休み自由研究」
（～8月31日）観覧者数 10,081名
夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】（～8月31日）
7月21日 台風のため閉館（9:00～12:00）
7月22日 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】
夏休みこどもウィーク（学芸班）～12日
短編アニメ上映会【平和祈念ホール】（6、10、11日）計254名
親子平和学習ツアー【平和祈念公園内】（8日）計14名
7月24日 ドイツ総領事視察館長表敬訪問
7月26日 那覇教育事務所中堅教諭等資質向上研修
7月28日 特別展 未来に託す戦世の記憶 川崎市平和館（～9月2日）
7月31日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（宮古島市役所 ～8月9日）
〃 島尻教育事務所初任者研修
8月20日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式・開会式（本庁～24日）
9月1日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（米国ハワイ州ホノルル市～2日）
9月2日 第2回ギャラリー展「第28回児童・生徒の平和メッセージ最優秀
作品展」
9月3日 大学生インターンシップ（琉球大学2名）
9月14日 第3回子ども・プロセス企画展「戦争と人々の暮らし」
（～11月23日）観覧者数26,311名
9月29日 台風のため閉館（停電等のため ～5日）
10月8日 第19回特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」
（～12月9日）25,025名
10月13日 アルゼンチン記者視察 ※外務省依頼
10月16日 高知県議会総務委員会視察
10月19日 愛知県豊橋市議会行政視察
10月21日 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げて
いくのか」参加者数60名
11月7日 第25回日本平和博物館会議 ピースおおさか（～9日）
11月9日 第2回「島守の塔」継承事業に係る県新採職員研修
11月13日 広島市議会総務委員会視察

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

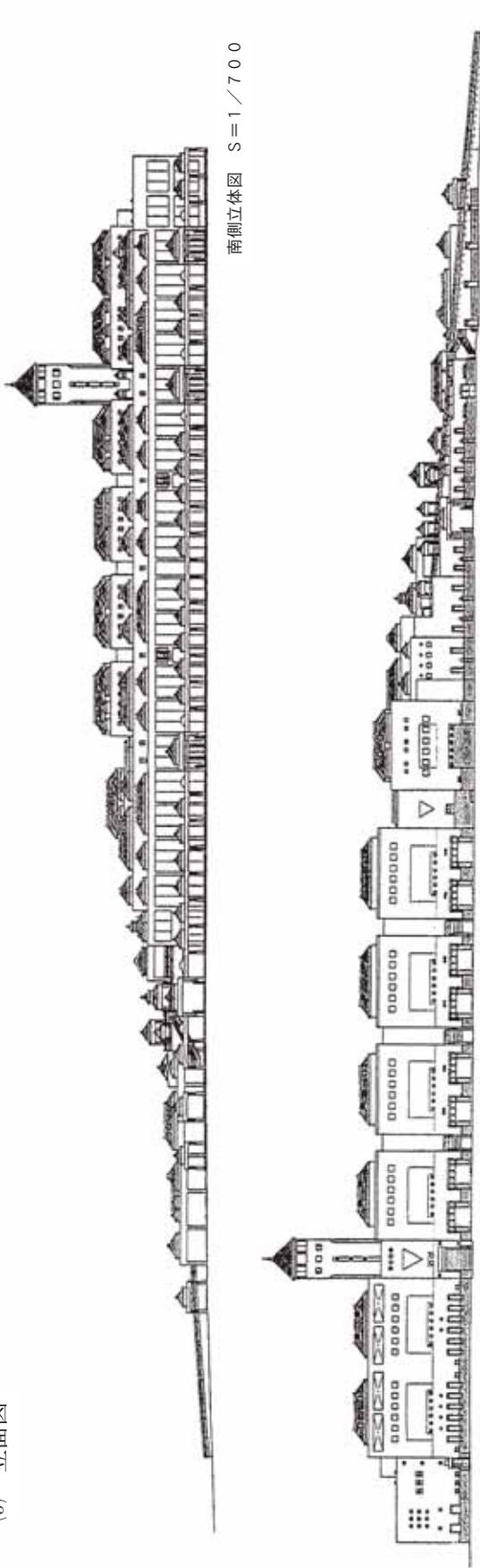
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

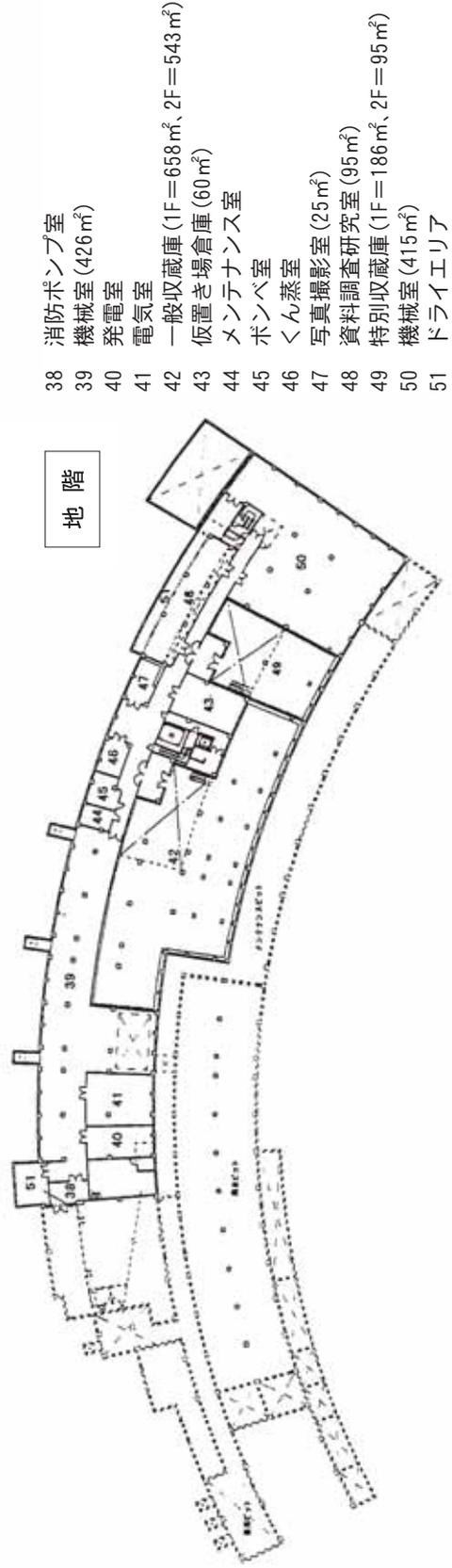
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

(3) 立面図



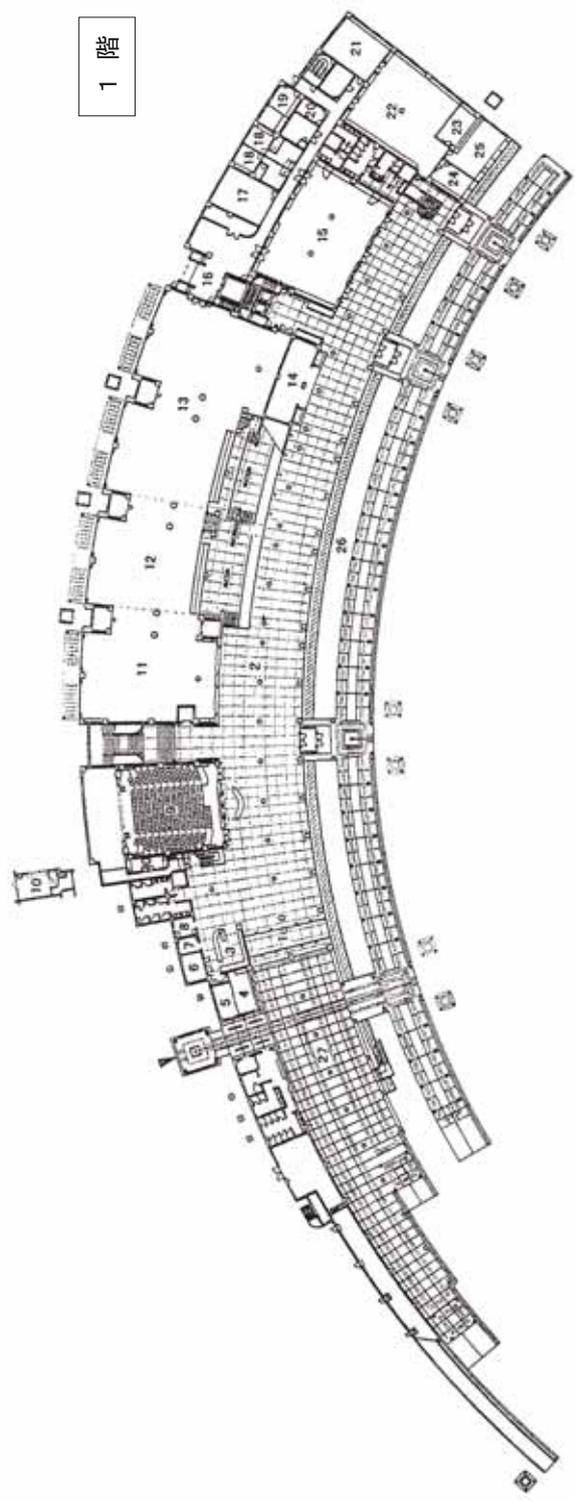
(4) 平面図



地階 s=1/700

- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・救護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室(49㎡)
- 17 情報処理室
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

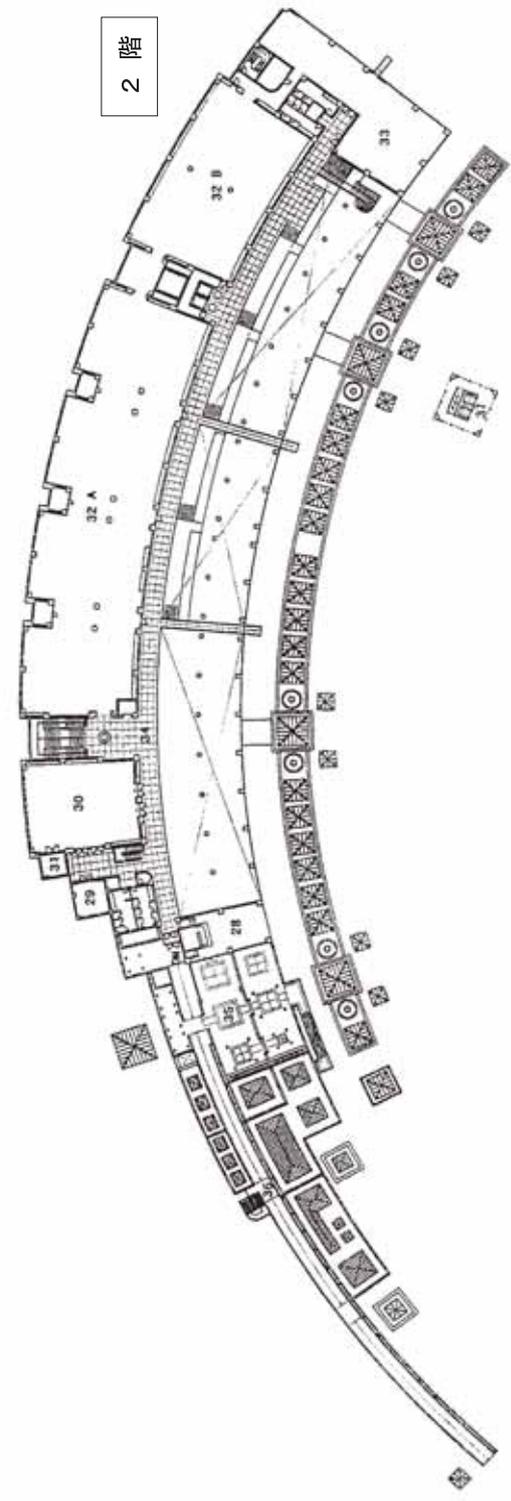
1階 s=1/700



1階

- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

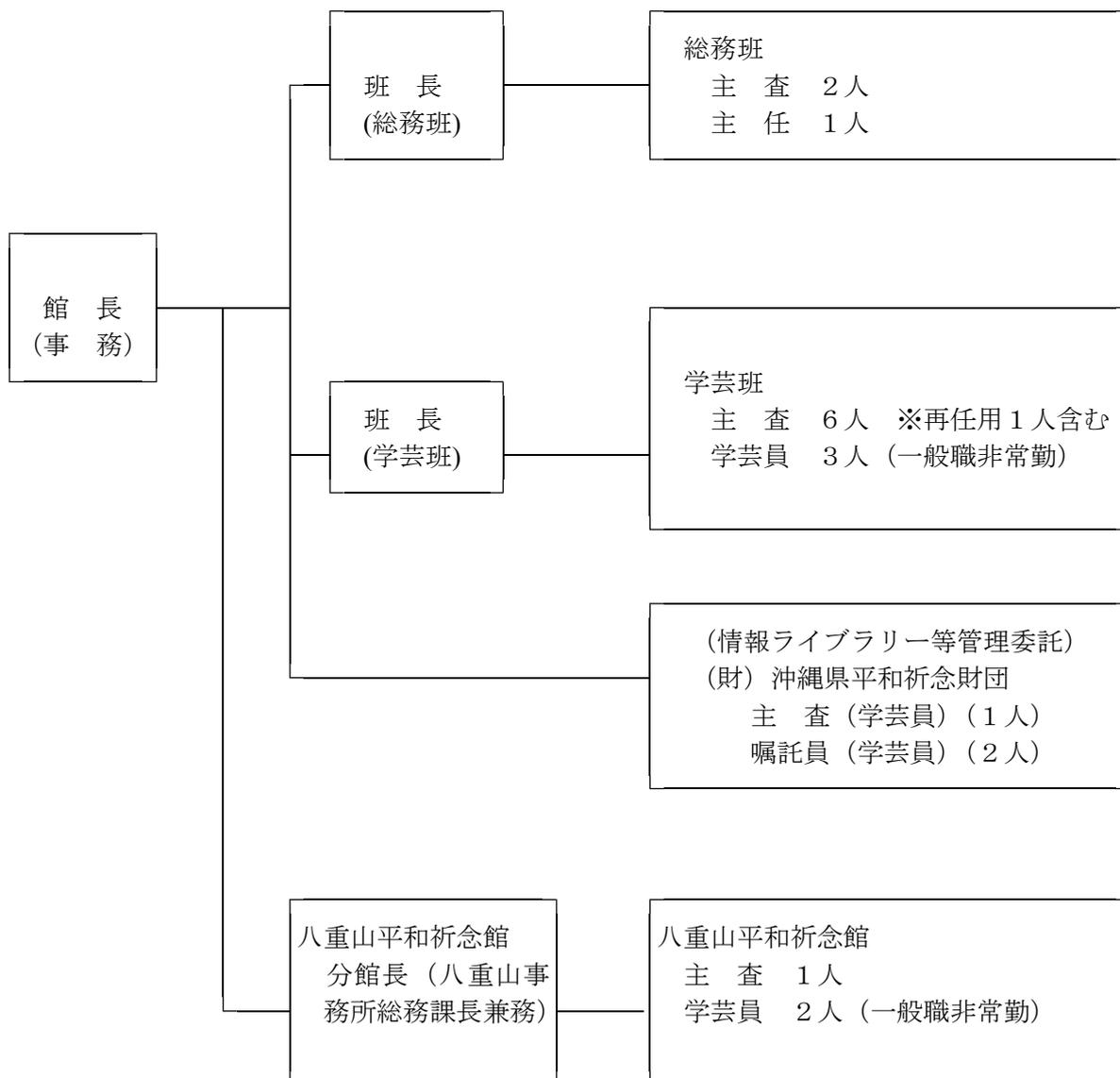
2階 s=1/700



2階

4 組 織

(1) 機構（平成30年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付（3人）、警備（2人）、清掃（2人）、機械設備管理（1人）

(2) 職員構成（平成30年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	原田 直美	資料館業務の総理に関すること

総務班

班 長	新垣 浩昭 (出納員)	<p>管理運営に係る将来計画の策定に関する事項</p> <p>予算、決算、監査の総括に関する事項</p> <p>財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等）</p> <p>消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項</p> <p>議会関係に関する事項</p> <p>委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項</p> <p>運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項）</p> <p>土日祝日勤務割り振りに関する事項</p> <p>その他庶務会計に関する事項</p>
主 査	平良 理奈	<p>給与の支払、諸手当の認定、任用等サービスに関する事項</p> <p>文書の收受、保管に関する事項</p> <p>出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項</p> <p>需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項</p> <p>旅費、報酬、謝金に関する事項</p> <p>決算に関する事項</p> <p>公用車の管理に関する事項</p> <p>消耗品、切手等の受払に関する事項</p> <p>雑入に関する事項</p> <p>共済事務に関する事項</p> <p>その他庶務会計に関する事項</p>
主 査	仲村渠 ゆかり	<p>出納事務に関する事項（日計表の確認含む）</p> <p>施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項</p> <p>団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項</p> <p>歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む）</p> <p>委託料に関する事項</p> <p>修繕料に関する事項</p> <p>音声ガイダンス等音響機器の管理に関する事項</p> <p>機器のリースに関する事項</p> <p>備品の執行管理に関する事項</p> <p>公有財産に関する事項</p> <p>その他庶務・会計に関する事項</p>
主 任	亀谷 耕	<p>団体入館予約・サインージ入力に関すること</p> <p>リーフレットの送付に関すること</p> <p>拾得物に関すること</p> <p>その他庶務・会計に関する事項</p>

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	棚原 信	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 予算・決算・議会对応の資料作成に関する事項 (学芸的事項) (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び議題) (主) 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (主) 消防防災に関する事項 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査	上原 恵二	「戦世の記憶」平和発信強化事業 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 沖縄県地域史協議会に関する事項 (主) 特別企画展の企画・立案に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	新垣 成美	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 常設展示 (子どもプラザ展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) 英語に関する業務 (副) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	金城 篤	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 特別講座に関する事項 (主) 英語に関する業務 (主) 常設展示室 (第1・2室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議 (主) 沖縄県地域史協議会に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共) 情報化推進に関する事項 (主)

主 査	長島 誠	県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主）※名称検討 資料館講習会の企画等に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 「戦世の記憶」平和発信強化事業（副） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査	大嶺 拡	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（新収蔵品展）（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 常設展示（第3・4室）の管理に関する事項（主） 沖縄県博物館協会に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査(再) (短時間勤務)	玉城 律子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 「年報」の発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 館内広報に関する業務（主） 資料館講習会（副） その他学芸業務に関する事項（共）
非 常 勤 (学芸員)	儀間 智美 太田 麻砂美 大城 博美	展示活動の企画・準備・実施に関する事項（副） 資料・収蔵品の登録・整理に関する事項 HPの更新に関する事項 その他学芸業務の補助に関する事項 ・館内事業案内掲示など広報等に関する事項 ・沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言（追加） 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言（追加）
嘱 託 員 (学芸員)	平良 綾乃	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項（追加）
	鈴木 友美	

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	比屋根 勉	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	古波蔵 弥生	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
非 常 勤	久高 百合子	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

(3) 人事異動（平成30年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異 動	職 名	氏 名	摘 要
転 入	主 査 主 査 主 査 主 任 主 査 (再) 非 常 勤 非 常 勤 非 常 勤	長島 誠 金城 篤 大嶺 拓 亀谷 耕 玉城 律子 儀間 智美 太田 麻砂美 大城 博美	県立向陽高等学校から 県教育庁文化財課から 南城市立知念中学校から 水産課から 女性相談所から 更新 更新 採用
転 出	班 長 主 査 主 査 主 査 (再) 非 常 勤	古謝 将史 福里 竜也 渡邊 尚子 呉屋 禮子 鈴木 友美	豊見城市立豊見城中学校へ 県立豊見城南高等学校へ 県立向陽高等学校へ 平和祈念財団へ

八重山平和祈念館

異 動	職 名	氏 名	摘 要
転 入	主 査 非 常 勤	古波蔵 弥生	河川課から
転 出	主 査 非 常 勤	川上 剛司 宮良 晴美	八重山土木事務所へ

5 平成30年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	「戦世の記憶」平和発信強化事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館 観覧料	50,969,520	0	0	0	0	0	50,969,520
本館	50,745,280						50,745,280
分館	224,240						224,240
資料館 使用料	0	1,187,020	0	0	0	0	1,187,020
本館		1,178,920					1,178,920
分館		8,100					8,100
建物 使用料	0	0	234,826	0	0	0	234,826
本館			234,826				234,826
分館							0
建物貸付料（本館）			515,160				515,160
寄附金							0
雑入（本館）			726,542				726,542
戦世の記憶平和発信強化事業（本館）				11,252,000			11,252,000
合 計	50,969,520	1,187,020	1,476,528	11,252,000	0	0	64,885,068
本館	50,745,280	1,178,920	1,476,528	11,252,000	0	0	64,652,728
分館	224,240	8,100	0	0	0	0	232,340

歳 出

単位：円

科 目	管理運営事業	展示活動事業	戦世の記憶平和発信強化事業	管理運営事業（繰越分）		合計
報 酬	120,900	8,397,900	0			8,518,800
本館	120,900	5,669,280				5,790,180
分館		2,728,620				2,728,620
共 済 費						0
賃 金						0
報 償 費	63,000					63,000
旅 費	315,460	1,494,923	700,180			2,510,563
本館	230,720	1,460,273	700,180			2,391,173
分館	84,740	34,650				119,390
需 用 費	42,057,090	482,859	0	20,451,442		62,991,391
本館	40,248,332	462,859		20,451,442		61,162,633
分館	1,808,758	20,000				1,828,758
役 務 費	2,260,048	0	0			2,260,048
本館	2,127,445	0				2,127,445
分館	132,603	0				132,603
委 託 料	57,989,368	17,393,992	13,365,000	3,553,200		92,301,560
本館	56,703,088	17,310,400	13,365,000	3,553,200		90,931,688
分館	1,286,280	83,592				1,369,872
使用料及び賃借料	3,080,130	17,176	0			3,097,306
本館	3,080,130	17,176				3,097,306
分館		0				0
工事請負費						0
備品購入費	274,640					274,640
負担金補助及び交付金	10,000					10,000
公 課 費	0					0
合 計	106,170,636	27,786,850	14,065,180	24,004,642		172,027,308
本館	102,858,255	24,919,988	14,065,180	24,004,642		165,848,065
分館	3,312,381	2,866,862	0			6,179,243

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

(任期：平成29年5月19日～平成31年5月18日)

区分	役職名	氏名	現職名
教育関係者	会長	安田 國重	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	當眞 嗣一	沖縄考古学会顧問、グスク研究所主宰
	委員	大城 将保	新沖縄県史編集委員
	委員	平良 次子	南風原文化センター学芸班長
	委員	古賀 徳子	ひめゆり平和祈念資料館学芸課長代理
	委員	青山 恵昭	美術家(画家及びグラフィックデザイナー)
	委員	安里 進	沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員
	委員	安里 英子	沖縄大学非常勤講師
教育関係者	委員	宮城 明	大育高等専修学校非常勤講師
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長(保育園園長)
行政経験者	委員	大川 芳子	元沖縄県平和祈念資料館館長
公募	委員	翁 長江美	那覇市教育委員会教育相談支援員

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	當眞 嗣一	沖縄考古学会顧問、グスク研究所主宰
	委員	安里 英子	沖縄大学非常勤講師
	委員	翁 長江美	那覇市教育委員会教育相談支援員

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成30年度第1回運営協議会

日時：平成31年2月8日(金) 13:30～16:30 場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1) 議題

- ① [本館] 平成30年度事業実施報告について
- ② [本館] 平成31年度事業計画(案)について

(2) 報告

- ① [分館] 平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画(案)について

II 調査研究事業

1 特別企画展のための調査研究

[目的]

平成30年度第19回特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」の充実を図るために調査研究を行った。

[調査方法]

- (1) 当館収蔵資料調査
- (2) 関連資料館（沖縄県公文書館、那覇市歴史博物館）等からの資料（写真データ）借用、その他市町村関係機関等への平和教育実施内容に関する聞き取り調査
- (3) 図表作成のための統計データ調査

[内容]

今回の特別企画展は、沖縄戦において沖縄県民の受けた人的・物的被害や県内における沖縄戦の継承活動について展示した。展示方法については、写真パネルを中心に、実物資料、戦争被害等に関する図表パネルを使用した。そのため、沖縄戦に関する写真データ等を保管する沖縄県公文書館や那覇市歴史博物館等から写真データを借用した。その他、沖縄戦の継承活動を紹介するため、市町村で取り組んでいる平和学習の状況を調査したほか、平和学習で小学生が作成した平和壁新聞や市町村から関係資料の提供を受けた。最終的にこれらの調査や提供資料を基に現在の継承活動の状況を取りまとめ、展示内容の検討や表現方法の参考にした。

[資料借用先]

沖縄県公文書館、那覇市歴史博物館、その他

[参考文献]

- 『沖縄県史 各論編 第6巻 沖縄戦』沖縄県教育庁文化財課史料編集班編
沖縄県教育委員会 2017年
- 『沖縄方面陸軍作戦』防衛庁防衛研修所史室 朝雲新聞社 1968年
- 『日米最後の戦闘』米国陸軍省編 外間正四郎訳 サイマル出版会 1968年
- 『糸満市史 資料編7 戦時資料 上巻』糸満市史編集委員会編 糸満市役所 2003年
- 『糸満市史 資料編7 戦時資料 下巻』糸満市史編集委員会編 糸満市役所 1998年
- 『読谷村立歴史民俗資料館紀要 第29号』読谷村立歴史民俗資料館編 読谷村教育委員会 2005年
- 『沖縄の援護のあゆみ 沖縄戦終結50周年記念』沖縄県生活福祉部援護課 1996年 他



実物資料展示の様子



展示室の様子



写真資料展示

2 第25回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1994年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

平成30年度は、ピースおおさかを事務局として開催された。

- (1) 期 間：平成30年11月8日（木）～11月9日（金）
- (2) 開催場所：大阪国際平和センター（ピースおおさか）（大阪府大阪市中央区大阪城2-1）
- (3) 参加博物館
 - ①埼玉県平和資料館（埼玉県）、②川崎市平和館（神奈川県）
 - ③立命館大学国際平和ミュージアム（京都府）、④広島平和記念資料館（広島県）、
 - ⑤長崎原爆資料館（長崎県）、⑥沖縄県平和祈念資料館（沖縄県）
 - ⑦神奈川県立地球市民かながわプラザ（神奈川県）、⑧ひめゆり平和祈念資料館（沖縄県）
 - ⑨ピースおおさか（大阪府）

- (4) 日 程

【11月8日（木）】

① 定例会

協議題1「戦争体験の継承に新技術を活用することについて」

協議題2「現代社会の実情を踏まえた情報発信・展示の在り方について」

協議題3「若者を対象にした取り組みについて」

協議題4「子ども・親子・児童等向けのプログラムの推進について」

協議題5「主体的な平和教育の方法について」

その他：聴取事項について報告

② 館内視察 ピースおおさか常設展示室展示及び特別展視察



ピースおおさか常設展示室視察



ピースおおさか施設見学

【11月9日（金）】

フィールドワーク・視察（大阪城公園内の戦跡フィールドワーク・大阪城天守閣視察）



大阪城公園内戦跡



ミライザ大阪城

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海

外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器（LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー）とコントローラー、映像ディスク（LDディスクからDVDディスクへ）を刷新した。
 - ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
 - ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成22年度）
 - ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成26年度）
 - ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。（平成27年度）
 - ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）を進めた。（平成27年度）
- 常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イ

タリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)

⑦デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)

⑧第4室証言文のラミネート加工の修繕(平成29年度)

⑨常設展示室(第1室から第5室)の拭き取り清掃を実施した。(平成29年度)

⑩第4室証言文のラミネート加工の修繕(平成30年度)

⑪第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)

2 企画展

(1) 第19回特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」

① 開催場所及び開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室 平成30年10月8日(月)～12月9日(日)
八重山平和祈念館 第2展示室 平成31年1月19日(土)～2月24日(日)

② 趣旨

平成30年度の特別企画展は「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」と題して、主に沖縄県民が戦争によって受けた被害について展示した。展示は、戦没者のみならず生存者も被害者であるとの観点に立ち、3部構成で行った。第1部「打ち砕かれた沖縄」では、日米両軍の凄まじい戦闘によりあらゆるものが破壊された沖縄の姿を展示した。第2部「沖縄県民の戦争被害」は、「命を奪われた人びと」「生きぬいた人びと」「物的被害」の3つの側面から、沖縄戦による戦争被害について展示した。最後の第3部「次代への継承」では、沖縄戦の体験を次の世代に伝えるための様々な取り組みについて紹介した。これらの展示を通じて、戦争がおこると犠牲になるのは多くの一般住民であることを認識してもらおうとともに、戦後73年が経過し、沖縄戦の悲劇と戦後の苦難を乗り越えた体験者が少なくなる中で、戦争を体験していない世代が、戦争の体験や教訓と平和の尊さをどのように継承していけるのかを考えていただく機会とした。



③ 展示の構成

第1部 打ち砕かれた沖縄

- 1 沖縄戦前夜
- 2 沖縄戦 (1) 日本軍の配備 (2) 米軍の上陸
- 3 破壊と殺戮 (1) 鉄の暴風 (2) 地獄の戦場

第2部 沖縄県民の戦争被害

- 1 命を奪われた人びと (1) 県民の戦没状況 (2) 住民犠牲の諸相 (3) 戦場に動員された県民
- 2 生きぬいた人びと (1) 廃墟の中から (2) 遺族 (3) 戦傷病者 (4) 戦争孤児
- 3 物的被害 (1) 社会資本の被害 (2) 個人財産の被害 (3) 文化財の被害

第3部 次代への継承

- 1 今なお癒えぬ戦争の傷 (1) 沖縄戦の体験から学んだもの (2) 終わらない戦後処理
- 2 沖縄戦の継承 (1) 「住民の目を見た沖縄戦」展示開始から40年
(2) 新資料館の開館と戦争体験の記録
(3) 沖縄戦の記録・研究
(4) 学校や地域などの取り組み
- 3 平和のメッセージ
(1) 第28回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門中学校の部 最優秀賞
(2) 沖縄県平和祈念資料館展示むすびのことば

④ 観覧者数・・・25,025人 ※本館開催期間(平成30年10月8日(月)～12月9日(日))



展示の様子



観覧の様子(本館)



観覧の様子(八重山)

(2) 子ども・プロセス企画展

第1回「母と子が見た沖縄戦」

生命の象徴であり大切に守られるべき存在の「母と子」に焦点をあてる。鉄の暴風が吹き荒れる沖縄で、「母と子」が直面した様々な出来事を追体験しながら、多くの住民が犠牲となった沖縄戦について理解を深める。人びとの人間性を失わせ、尊い命や人権を踏みしめる戦争とは何なのかを、子どもたち一人ひとりが考える機会とする。

[期間] 平成30年5月28日(月)～7月10日(火)

[内容]

- ①沖縄戦のはじまり
- ②母と子が見た沖縄戦
 - ・北部への避難
 - ・鉄の暴風
 - ・ガマ・避難壕
 - ・地獄の戦場
 - ・捕虜、収容所へ
- ③戦争体験の継承

[観覧者数] 16,556名



第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。また、情報ライブラリー内に自由研究学習コーナーを設置して、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにする。

[期間] 平成30年7月21日(土)～8月31日(金)

[内容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
 - ・戦争中の教育
 - ・沖縄戦の概要
 - ・沖縄戦の被害
 - ・住民の戦場動員
 - ・住民の避難状況
 - ・戦争孤児
 - ・不発弾
 - ・平和の礎
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 10,081名



第3回「戦争と人々の暮らし」

戦争によって国民の生活がどのように変わっていったのかを様々な面から展示する。そして、なぜ日本は戦争を始めたのか、どうして戦争はどんどん広がっていったのか、戦争による被害の大きさ、人権の抑圧などについても理解を深め、平和の尊さについて考える機会とする。

[期間] 平成30年9月14日(金)～平成31年1月31日(木)

[内容]

- ①中国との戦争が始まる
- ②アジア・太平洋に広がる戦争
- ③戦争と人々の暮らし
- ④子どもたちと戦争
- ⑤おそいかかる空襲
- ⑥沖縄・広島・長崎、そして敗戦
- ⑦平和で豊かな暮らしをみざして

[観覧者数] 30,759名



第4回「君たちにおくる平和のメッセージ」

子ども・プロセス展示室の「君たちにおくる平和のメッセージ」コーナーで紹介している7人の人物について、子ども向けに詳しく展示する。平和のために努力した人物について、子どもたちが興味を持つように工夫し、エピソードや年表、用語解説などを組み合わせ、その業績と人物の全体像が理解できるようにする。

[期間] 平成31年2月15日(金)～5月15日(水)

[内容]

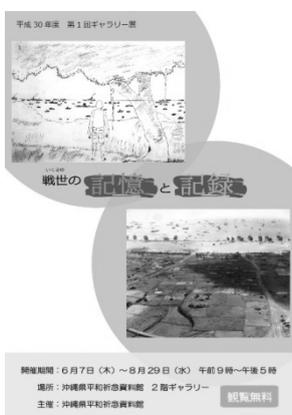
- ①いま、せかいでなにが・・・
- ②君たちにおくる平和のメッセージ
 - ・マーティン・ルーサー・キング
 - ・ネルソン・マンデラ
 - ・マザー・テレサ
 - ・アンネ・フランク
 - ・リヒャルト・フォン・ワイツゼッカー
 - ・モハンダス・カラムチャンド・ガンディー
 - ・阿波根昌鴻
- ③私たちにできること



(3) 平成 30 年度ギャラリー展

沖縄戦およびそこから学んだ教訓を伝え、平和について考えていくため、当館が所蔵する各種資料をはじめとした様々な資料を、より多くの人たちにご覧いただく機会として、非常勤職員（学芸員）のそれぞれの視点で選び構成した「ギャラリー展」を、今年度も 4 回開催いたしました。

第 1 回「戦世の“記憶”と“記録”」



悲しい記憶を呼び起こし、様々な思いを込めて描かれた「沖縄戦の絵」は、私たちに強く訴えかけてくるものがあります。今回はそうした「沖縄戦の絵」を、描かれた場面に類似する、あるいは関連する米軍記録写真と合わせて展示し、より現実感を持って絵と向き合おうと考えています。住民視点の「沖縄戦の絵」と、米軍視点の「記録写真」の双方の視点から沖縄戦を見ることで、戦争について、そして平和について、より深く考える場となれば幸いです。

【期間】 平成 30 年 6 月 6 日（水）～8 月 29 日（水）

第 2 回「第 28 回児童・生徒の平和メッセージ 最優秀賞作品展」

沖縄県内各地・ハワイで開催された第 28 回児童・生徒の平和メッセージ展より最優秀賞作品を再展示し、沖縄の児童生徒が発信する平和のメッセージを多くの来館者に届ける場としました。

【期間】 平成 30 年 9 月 6 日（木）～11 月 28 日（水）



第 3 回「米軍記録写真が切り取った「沖縄の人びとの（破壊された）生活風景」 そのかけらを探して —住居（民家）編—」

米軍が戦時中に撮影した記録写真の中から、沖縄戦以前の沖縄の人

びとの生活風景を読みとり、沖縄の人びとの戦前の生活に思いをはせ、その生活の場に戦争がきたことを感じてもらう場としました。

今回は、沖縄の人びとの戦前の生活景観を想像できるように、沖縄戦以前の人びとの住居（民家）に着目し、写真を集めました。

【期間】 平成 30 年 12 月 6 日（木）～平成 31 年 3 月 6 日（水）

第 4 回「“特別企画展ポスター”展」

キーワードの詰まった特別企画展ポスターを通して、沖縄戦を掘り下げるヒントを提供するとともに、これまでの資料館の実績を紹介する場としました。

【期間】 平成 31 年 3 月 21 日（木）～6 月 22 日（土）



【ギャラリー展および観覧する人たちの様子】



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(1) 実物資料

個人（7名）から7件で28点の資料寄贈があった。

NO	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	H30.3.15	十五糎榴弾砲弾薬箱	1	町田 政勇
2	H30.3.18	米軍支給作業着一式 他	8	上江洲 亘
3	H30.4.19	米軍製コート	1	山城 昌樹
4	H30.12.7	戦陣訓、身分証明証 他	10	真栄城 喜佐子
5	H30.12.10	短小銃、銃剣	2	玉城 弘
6	H31.1.4	陸軍賞詞、陸軍辞令書	4	仲盛 長秀
7	H31.1.14	陸軍予科士官学校制服 他	2	上江洲 亘

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

平成30年度は、県内外あわせて計（64）件、（635）点の貸出を行った。

県内 39件 （339）点

NO	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立小禄小学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品(図画)	6	5/8～5/25
2	糸満市立潮平小学校	平和学習キットB・C	2	5/14～5/25
3	座間味村立慶留間小中学校	沖縄戦の写真パネル	10	5/25～6/10
4	南風原町立南風原中学校	平和学習キットB	1	5/24～6/3
5	糸満市立糸満小学校	平和学習キットB・C	2	5/25～6/2
6	沖縄県立那覇国際高等学校	平和学習キットC	1	5/27～6/10
		児童・生徒の平和メッセージ展作品(作文)	1	6/10～6/24
7	沖縄県立開邦高等学校	平和学習キットC	1	5/28～6/10
8	沖縄県立真和志高等学校	沖縄戦の絵複製パネル	12	5/30～6/29
9	うるま市立田場小学校	平和学習キットB	1	5/30～6/6
		沖縄戦の写真パネル	11	5/30～6/20
		沖縄戦実物資料	7	〃
10	豊見城市立豊崎小学校	沖縄戦の写真パネル	18	6/1～6/30
11	沖縄県立美里工業高校	平和学習キットA	1	6/1～6/11
		平和学習キットC	1	6/11～6/19
		平和学習キットB	1	6/19～6/27
12	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットA	1	6/1～6/9
		平和学習キットC	1	6/1～6/15
13	沖縄県立大平特別支援学校	沖縄戦の絵複製パネル	20	6/1～6/29
14	糸満市立三和中学校	平和学習キットB	1	6/1～6/12
		沖縄戦実物資料	8	〃
15	豊見城市立豊見城中学校	平和のウムイ地域版セット(那覇南部地区)	1	6/3～6/17
16	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットA・B	2	6/4～6/15
17	沖縄県立八重山農林高等学校	平和のウムイ地域版セット(石垣島地区)	1	6/11～6/25
18	久米島博物館	平和のウムイ地域版セット(久米島地区)	1	6/13～6/26
19	沖縄県立那覇高等学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品(図画)	20	6/7～7/7
20	沖縄県立本部高等学校	沖縄戦実物資料	4	6/8～6/24
21	沖縄県立糸満高等学校	平和学習キットB	10	6/8～6/22
		沖縄戦実物資料	10	6/8～6/26
		沖縄戦の絵複製パネル	1	〃

22	沖縄県立那覇国際高等学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品(作文)	1	6/10～6/24
23	糸満市立西崎小学校	平和学習キットA・C	2	6/11～6/24
24	沖縄県立北山高等学校	平和のウマイ地域版セット(北部地区) 沖縄戦実物資料	1 9	6/11～6/24 〃
25	沖縄県立那覇商業高等学校	沖縄戦実物資料	8	6/11～6/22
26	豊見城市役所	沖縄戦実物資料 沖縄戦の絵複製パネル	6 4	6/12～6/26 〃
27	沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校	平和学習キットD 沖縄戦の写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル	2 3 6	6/13～6/23 〃 〃
28	中城村役場	平和学習キットB・C 沖縄戦の写真パネル	2 20	6/13～6/26 〃
29	沖縄県立豊見城南高等学校	沖縄戦実物資料 平和学習キットA	8 1	6/13～7/13 6/29～7/13
30	名護市立屋我地ひるぎ学園	沖縄戦実物資料 児童・生徒の平和メッセージ展作品 図画(3)・作文(3)・詩(3)	5 9	6/13～6/25 〃
31	沖縄県立美咲特別支援学校	平和学習キットD 沖縄戦の写真パネル	1 20	6/16～6/23 〃
32	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットC	1	6/17～6/29
33	沖縄県立泡瀬特別支援学校	平和学習キットA・D	2	6/17～6/30
34	糸満市立中央図書館	平和学習キットA	1	6/17～6/27
35	浦添市立浦添小学校	平和学習キットB	1	6/18～6/30
36	沖縄福祉保育専門学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品 図画(4)・詩(4)	8	6/19～6/29
37	那覇市立石嶺小学校	平和学習キットA	1	7/1～7/15
38	那覇市立石嶺小学校	平和学習キットB・C 沖縄戦実物資料 沖縄戦の絵複製パネル	2 20 20	1/23～2/5
39	本願寺沖縄別院	平和学習キットB 沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ展作品 作文(4)・詩(5)	1 6 9	3/18～3/26

県外 25件 (296)点

NO	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	京都府 城陽市役所秘書広報課	沖縄戦の写真パネル	20	7/4～7/23
2	新潟県 上越市役所 共生まちづくり課	沖縄戦実物資料 平和学習キットB 沖縄戦の写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル	10 1 16 4	7/12～8/19 〃 〃 〃
3	大阪府 羽曳野市立文化センター (LICはびきの)	沖縄戦実物資料 沖縄戦の絵複製パネル	4 10	7/18～7/26 〃
4	埼玉県 蕨市立旭町公民館	沖縄戦の写真パネル	15	7/22～8/5
5	東京都 港区役所総務課	沖縄戦実物資料	20	7/23～8/17
6	秋田県 連合秋田中央地域協議会	沖縄戦の写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル	15 5	7/24～8/3 〃
7	埼玉県 北本市役所市民課	平和学習キットB・C	2	7/25～8/8
8	岐阜県 大垣市 (自治労岐阜県本部西濃ブロック協議会)	平和学習キットB	1	7/26～8/2

9	神奈川県 厚木市役所福祉総務課	平和学習キットA・B 沖縄戦の写真パネル 沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ展作品(図画)	2 11 3 5	7/27～8/10
10	東京都 三鷹市役所企画経営課	沖縄戦の写真パネル	16	7/27～9/3
11	奈良県 上牧町役場政策調整課	沖縄戦の写真パネル	20	7/31～8/16
12	奈良県 奈良市立春日中学校	児童・生徒の平和メッセージ展作品(図画)	3	8/1～8/31
13	山形県 天童・平和をつたえる会	平和学習キットC・D	2	8/4～8/16
14	埼玉県 狭山市立水野公民館	平和学習キットA 沖縄戦の絵複製パネル	1 12	8/8～8/21
15	東京都 東京北法律事務所	平和学習キットA・C	2	8/16～8/22
16	東京都 全国大学生生活協同組合連合会	平和学習キットA・B 沖縄戦実物資料	2 13	9/3～9/17
17	奈良県 奈良市立富雄南小学校	平和学習キットB・C	2	9/12～9/26
18	静岡県 清水地域勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル	20	9/14～9/25
19	兵庫県 武庫川女子大附属高等学校	平和学習キットB・C	2	9/14～9/28
20	広島県 盈進中学高等学校	平和学習キットB・C 沖縄戦実物資料	2 6	9/20～9/26
21	三重県 鈴鹿高等学校	平和学習キットC	1	9/20～10/4
22	愛知県 豊明高等学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦の写真パネル	12 7	10/29～11/2
23	熊本県 大津北中学校	沖縄戦の写真パネル	13	11/12～12/7
24	福岡県 退職教職員協会久留米支会	児童・生徒の平和メッセージ展作品 図画(15)	15	12/5～12/11
25	千葉県 佐倉市役所	平和学習キットC	1	1/11～1/25

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル(201点)、沖縄戦実物資料(20種類)、子や孫につながる平和のウミ地域版セット
児童・生徒の平和メッセージ展入選作品パネル(図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式
沖縄戦の絵複製パネル(52点)、平和学習キット(4種類)

(2) 証言映像の貸出

平成30年度貸出実績 29件 104本 (県内11件43本、県外18件61本)

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に貸し出しを行っております。近年は、県外の学校から、修学旅行前の事前学習の教材として利用したいとの申込みが増えています。

貸出ビデオ・DVD

- ① DVD 証言ビデオ 28巻 (1本に3名の証言、計81名の証言)
- ② DVD 『やーさん ひーさん しかーさん ー集団疎開の証言ー』
【通常版】【ダイジェスト版】
- ③ DVD 『そして僕らは生き残った』
- ④ DVD 『強制集団死(集団自決)に係る証言映像』
- ⑤ DVD 『平和のウミ』36巻 (1巻10名、計300名の証言)
- ⑥ DVD 『日系二世が見た戦中・戦後』4巻 (計19名の証言)
【日本語版】【英語版】

※貸出期間は2週間以内、貸出本数は5本以内となっています。

3 撮影・掲載等利用一覧

平成31年3月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	中城村長 浜田京介	○沖縄戦米軍記録写真0296 ポスター掲載	1	4月18日
2	中日新聞東京本社 編集長 臼田信行	○沖縄戦米軍記録写真0155 0074 0168 0183 0252 0138 0212 ○鹿山文書 ○投稿ピラ(2種類) ○「軍機を語るな」記載ポスター ○館内展示「ガマでの惨劇」(総合案内写真) ○「展示むすびのこたば」新聞掲載	13	4月20日
3	得永幸子	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	4月25日
4	中日新聞東京本社 編集長 臼田信行	○沖縄戦米軍記録写真0233 0284 0285 0286 0289 0292 新聞掲載	6	5月11日
5	沖縄テレビ放送 代表 久保田憲二	○本館における沖縄県立北谷高等学校対象平和講話の様子 撮影・放映	1	5月16日
6	名古屋青年合唱団 団長 武藤佳子	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」合唱へ利用・プログラムへ掲載	1	5月17日
7	新潟県上越市長 村山秀幸	○沖縄戦実物資料写真A-03 ○沖縄戦写真パネルB-005 E-002-1 複製・利用	3	5月25日
8	沖縄県立博物館・美術館 館長 田名真之	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	5月28日
9	宜野湾市立博物館 館長 千木良 芳範	○沖縄戦米軍記録写真0019 0039 0041 0043 0044 0045 0046 0075 0078 0098 0102 0138 0224 0267 0269 0282 0287 0296 0307 0311 0336 0462 0531 0545 0551 0560 0613 0619 0647 0651 0714 0801 ○沖縄戦写真パネルB-018 複製・利用	34	5月21日
10	株式会社ブレーン沖縄 代表取締役社長 山里泰彦	○本館保管写真「パラオ気象台在勤中沖縄郷友会一同」 パネル複製・利用	1	5月24日
11	沖縄県立埋蔵文化財センター 参事兼所長 登川安政	○沖縄戦写真パネルB-003 B-004-1 B-005 B-006 B-041 B-049 B- 059 B-061 B-064 B-068 B-074 B-078 B-089 ○平和学習キットB資料 「アジア・太平洋戦争の動き」「沖縄戦の戦闘経緯」「沖縄戦における日 米両軍の損害」「沖縄戦戦没者総数の推移」講演会へ利用	17	5月29日
12	沖縄市長 桑江朝千夫	○沖縄市平和大使南部宿泊研修における本館館内見学の様子 撮影・掲載	1	5月25日
13	大阪府吹田市長 後藤圭二	○第23回 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	6月2日
14	公益社団法人となみ青年会議所 代表 大西正起	○沖縄戦米軍記録写真0002 0009 0017 0051 0055 0065 0086 0090 0112 0141 0147 0178 0208 0236 0253 0257 0265 0286 0296 パネル複製・利用	19	5月30日
15	株式会社琉球新報社 代表取締役社長 富田詢一	○総合案内「戦前・戦後の県内人口年齢構成」新聞掲載	1	6月4日
16	共同通信社那覇支局 支局長 居石乃	○沖縄戦米軍記録写真0132 新聞記事掲載	1	6月5日
17	Door to Music 代表 高木由花	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	6月1日
18	恩納村文化情報センター センター長 宮城利旭	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	6月7日
19	宜野湾市立大山小学校 校長 宮城彰夫	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	6月7日
20	琉球放送株式会社ラジオ局 RBCラジオ編成制作部長 多和田真梨奈	○第28回児童生徒の平和メッセージ 最優秀賞4作品 撮影・放映(ラ ジオ放送) ・小学校(低)誌部門「てをつなごう」 ・小学校(高)誌部門 「平和の光」 ・中学校作文部門「戦争の終わりを見るまでは」 ・高等学校作文部門「もう一つの家族」	4	6月8日
21	読売新聞社那覇支局 支局長 高橋宏平	○第28回 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」新聞掲載	1	6月12日
22	株式会社八重山毎日新聞 代表取締役社長 黒島安隆	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 最優秀賞 新聞掲載 小学校(低)の部「てをつなごう」 ・小学校(高)の部「平和の光」	2	6月13日
23	株式会社Nansei 代表取締役 砂川哲男	○戦争体験者証言blu-rey1枚 収録に向けた調査・検証のために利用	1	6月14日
24	毎日新聞社 那覇支局 支局長 遠藤孝康	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」新聞掲載	1	6月14日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
25	石垣市立図書館 館長 桃原直	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読の複製・利用	1	6月15日
26	有限会社ちいさいなかま社 代表取締役 實方伸子	○那覇市ガジマル保育園保育士及び園児における本館館内見学の様子 撮影・掲載	1	6月15日
27	合唱団エトワユ・駒澤大学合唱団 代表 蓼沼大樹	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」合唱への利用とプログラムへの掲載	1	6月18日
28	沖縄タイムス社 代表取締役社長 豊平良孝	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 最優秀賞の新聞掲載 ・図画部門 高等学校の部「平和への賛歌、つなぐ緑のリボン」 ・詩部門 中学校の部「生きる」	2	6月19日
29	時事通信社那覇支局 支局長 岸田芳樹	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」新聞記事配信(掲載)	1	6月19日
30	株式会社琉球新報社 代表取締役社長 富田詢一	○沖縄戦米軍記録写真0155 0074 0168 0183 0252 0138 0212 ○鹿山 文書 ○投稿ピラ(2種類) ○「軍機を語るな」と書かれたポスター ○館内展示「ガマでの惨劇」(総合案内写真) ○「展示むすびのことば」 新聞掲載	13	6月21日
31	株式会社暮らしの手帖社 代表取締役社長 阪東宗文	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」雑誌掲載	1	6月25日
32	毎日小学生新聞 編集長 太田阿利佐	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」新聞掲載	1	6月28日
33	新日本婦人の会国分寺支部 支部長 新井 靖子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」戦争体験記掲載	1	6月27日
34	9条の会 所沢やまぐち 共同代表 門目省吾	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」戦争体験談折り込み資料掲載	1	6月30日
35	公益財団法人廿日市市芸術文化 振興財団 理事長 濱本恵康	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」紹介のため利用	1	6月29日
36	岩手山焼走り国際交流村 支配人 高橋優樹	○児童・生徒の平和メッセージ詩部門最優秀賞受賞作品の銀河ステーション天文台への複製展示・利用・第28回中学校の部「生きる」 ・第27回高等学校の部「誓い」	2	7月2日
37	社会福祉法人大成福祉会 みつる保育園 園長 玉城智彦	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」保育所連盟全国大会パンフレット掲載	1	7月4日
38	ウッドオフィス株式会社 代表取締役社長 名取禎	○「方言札」写真の複製・テレビ放映	1	7月6日
39	多摩市長 阿部裕行	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」多摩市平和展への展示のため複製・利用	1	7月9日
40	江別市情報図書館 館長 山本則行	○第27回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 ・最優秀賞「へいわがいいね」・優秀賞「ねがい」 朗読のため複製・利用	2	7月11日
41	平和へのメッセージ実行委員会 (樋川市) 委員長 川島明	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」朗読へ利用	1	7月9日
42	平和フェスティバル実行委員会 (横浜市) 実行委員長 齋藤 勁	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」チラシへ掲載	1	7月9日
43	日本原水爆被害者団体協議会 事務局長 木戸李市	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」機関紙へ掲載	1	7月11日
44	沖縄県立具志川高等学校 学校長 上原昇	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「平和への賛歌、つなぐ緑のリボン」学校横断幕への掲載	1	7月13日
45	BAN-BANネットワークス株式会社 代表取締役社長 田中茂	○沖縄戦米軍記録写真0001 0019 0131 0132 テレビ放映	4	7月20日
46	おはなしはうす(絵本読み聞かせサークル) 代表 坂本浩美	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読へ利用	1	7月23日
47	神奈川県厚木市長 小林常良	○沖縄戦米軍記録写真0072 市広報紙へ掲載	1	7月26日
48	神奈川県厚木市長 小林常良	○第27回児童・生徒の平和メッセージ 作文部門 展示会へ複製・利用 ・高等学校の部優秀賞「平和を守る」・中学校の部最優秀賞「今、受け継ぐ曾祖母の思い」・小学校高学年部最優秀賞「伝えるバトン」 ・小学校高学年の部優秀賞「たった一度の話」 ・小学校低学年の部最優秀賞「えがおでへいわをつくろう」	5	7月30日
49	非核・平和をすすめる西東京市民の会 会長 鈴木治夫	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」パネル展配布チラシへ掲載	1	7月31日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
50	非核・平和をすすめる西東京市民の会 会長 鈴木治夫	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」映画祭配布チラシへ掲載	1	7月31日
51	日本大学芸術学部 伊藤つくし	○川崎市平和館における当館特別展「戦世の記憶」展示ブース全体の様子 撮影・放映	1	8月1日
52	沖縄国際大学 学長 前津榮健	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」朗読へ利用	1	8月6日
53	朗読の会「海の音」 代表 渾大防一枝	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」朗読へ利用	1	8月6日
54	沖縄県立コザ高等学校 校長 大濱裕司	○『沖縄の心を世界へ-平和学習に役立つ資料集-』(2010年)p4「75年開館当初の展示。遺骨とともに収集された武器や装備類が展示される」キャプション付き写真資料 公開授業にて利用	1	8月29日
55	全国福祉保育労働組合東海地方本部 執行委員長 薄美穂子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」配付資料へ掲載	1	8月24日
56	沖縄平和賞委員会事務局 事務局長 大城玲子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門全カテゴリー最優秀賞・優秀賞全作品 沖縄平和賞授賞式における朗読作品選考のための利用・報告書掲載	15	8月28日
57	株式会社プレーン沖縄 代表取締役社長 山里泰彦	○『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』p28比嘉武二郎氏の顔写真 展示パネルへ複製・利用	1	8月29日
58	沖縄平和賞委員会事務局 事務局長 大城玲子	○第27回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門全カテゴリー最優秀賞・優秀賞全作品 沖縄平和賞授賞式における朗読作品選考のための利用・報告書掲載	15	9月3日
59	株式会社金曜日 代表取締役社長 北村肇	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」週刊誌へ掲載	1	9月12日
60	宮古島市教育委員会生涯学習部 生涯学習振興課 次長兼課長 久貝喜一	○Military geology of the Miyako Archipelago,Ryukyu-retto Part.2 Engineering Aspect MAP3,VEGETATION MAP ・HIRARA SHEET ・IRABU-JIMA SHEET 市史へ掲載	2	10月1日
61	公益財団法人 大阪国際センター 代表理事 京極務	○特別展「未来に託す戦世の記憶」チラシへの複製・掲載・利用	1	10月12日
62	徳島市八万中学校 校長 山口麻里	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」公開授業への複製・掲載・利用	1	10月24日
63	株式会社吉川弘文館 編集部長 堤崇志	○沖縄戦米軍記録写真0371 書籍へ掲載	1	10月24日
64	沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 安田國重	○収蔵品目録p641(1)写真 ・6 ・7 ・8 ・9 ・19 ○『沖縄新聞第10号』(1946年7月5日版) 配布資料へ掲載	6	10月31日
65	館林市長 須藤和臣	○沖縄戦米軍記録写真0253・0267・0269・0446 作文集へ掲載	4	11月16日
66	特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター 事務局長 仲泊和枝	○当館所蔵『カンボジア展』写真 写真パネルへ複製し展示に利用 ・タイトル写真 ・ツール・スレン虐殺博物館の紹介 ・Room2パネル6③ ・inside building a ・inside building c	5	11月20日
67	西原町立坂田小学校 校長 宮平育子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」学習発表会群読に利用	1	11月22日
68	Tokyo Cantat 代表 福田泰徳	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」合唱への利用とプログラムへの掲載	1	11月22日
69	一般社団法人すでいる 理事 比嘉豊光	○当館所蔵写真資料展示パネル作成のための撮影・複製・利用 ・A-2 ・B-12 ・B-22 ・C-1 ・C-2 ・C-3 ・D-6 ・D-7 ・D-9 ・D-10 ・E-13 ・E-16 ・E-17 ・E-18 ・I-8 ・I-21 ・J-15 ・M-3	18	3月9日
70	東京書籍株式会社中部支社 支社長 池邑雄二	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」教科書副読本への掲載	1	11月26日
71	朗読録音奉仕グループなぎさ会 会長 上馬場伸子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」朗読に利用	1	11月29日
72	株式会社新日本出版社 代表取締役社長 田所稔	○総合案内写真 第2章 1沖縄戦への道11・80・81 2鉄の暴風31・39 3地獄の戦場2・18 ○沖縄戦米軍記録写真0085・0140・0231・0233・ 0247・0297・0560 書籍へ掲載	14	12月13日
73	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団 さぬきこどもの国 園長 東原秀樹	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」朗読会への複製・利用	1	12月18日
74	株式会社山川出版社 代表取締役 野澤伸平	○当館外観・常設展示室内部写真 教科書補助教材への掲載・利用	3	12月20日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
75	一般財団法人放送大学教育振興会 出版部長 山田晃嗣	○当館常設展示第4室写真 博物館学教材への掲載	1	12月21日
76	沖縄県立具志川高等学校 学校長 上原昇	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「平和への賛歌、つなぐ緑のリボン」 学校文集への掲載	1	1月8日
77	非核・平和をすすめる西東京市民の 会 会長 鈴木治夫	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 市主催学習会への配布チラシへの掲載・利用	1	1月16日
78	関西大学東西学術研究所 所長 沈国威	○「教育勅語」謄本の写真資料 学術研究書への掲載	1	1月8日
79	名護市教育委員会文化課 課長 比嘉久	○「大浦崎収容所」写真資料 市史への掲載	1	1月21日
80	NHK沖縄放送局 局長 傍田賢治	○2018年度第3回ギャラリー展展示様子の撮影・放映	1	1月30日
81	株式会社海燕社 代表取締役 城間あさみ	○沖縄戦米軍記録写真0298 豊見城市教育委員会発注DVDジャケットへの掲載	1	1月31日
82	沖縄市長 桑江朝千夫	○第24回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「空はつながっている」 市民講座への複製・掲載・利用	1	2月6日
83	『生物科学』編集委員会 編集長 藤原宏子	○「展示むすびのことば」 研究誌表紙への掲載	1	2月7日
84	日本文教出版株式会社 代表取締役社長 佐々木秀樹	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 中学校道徳教科書への掲載	1	2月12日
85	株式会社帝国書院 代表取締役社長 鈴木啓之	○総合案内「展示むすびのことば」 ○沖縄県平和祈念資料館0233 中学校社会科教科書への掲載	2	2月7日
86	NHK報道局国際部 部長 伊藤良司	○インパール平和資料館設立メンバー視察の様子の撮影・放映	1	2月27日
87	隆声群 代表 菊村隆史	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 合唱への利用とパンフレットへの掲載	1	2月25日
88	学校図書株式会社 代表取締役社長 中嶋則雄	○当館外観写真 中学校英語教科書への掲載	1	2月27日
89	株式会社新日本出版社 代表取締役社長 田所稔	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 ○「展示むすびのことば」 書籍へ掲載	2	3月11日
90	上野原ぞうれっしゃ合唱団 代表 小杉紀久代	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわって すてきだね」 朗読会への複製・利用	1	3月11日
91	朝日新聞社 政治部長 栗原健太郎	○沖縄戦の絵パネル貸出リストW-8「切りつけてきた日本兵」 夕刊掲載	1	3月18日

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第28回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後73年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



① 応募総数 (2,447点) 図画1,189点 作文287点 詩971点

② 平成30年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
浦添市立港川中学校3年 相良倫子 「生きる」

③ 県内4会場、海外1会場にて展示会の実施

- ・沖縄県平和祈念資料館 (2階海と礎の回廊) 期間： 6月23日～7月6日
- ・八重山平和祈念館 (第2展示室) 期間： 7月13日～7月22日
- ・宮古島市役所 (1階ロビー) 期間： 7月31日～8月9日
- ・沖縄県庁 (1階県民ホール) 期間： 8月20日～8月24日
- ・米国ハワイ州 期間： 9月1日～9月2日

④ 表彰式

[日時]平成30年 8月20日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤ 入賞作品数 (225点)

【特別支援学級・学校】 33作品

図画：最優秀	1	優秀	2	優良	4	佳作	5	：	計12作品
作文：最優秀	1	優秀	1	優良	1	佳作	2	：	計5作品
詩：最優秀	1	優秀	2	優良	5	佳作	8	：	計16作品

【小学校低学年】 29作品

図画：最優秀	1	優秀	2	優良	5	佳作	10	：	計18作品
詩：最優秀	1	優秀	2	優良	4	佳作	4	：	計11作品

【小学校高学年】 62作品

図画：最優秀	1	優秀	2	優良	8	佳作	15	：	計26作品
--------	---	----	---	----	---	----	----	---	-------

作文：最優秀 1 優秀 2 優良 5 佳作 9 : 計17作品
 詩 : 最優秀 1 優秀 2 優良 6 佳作10 : 計19作品

【中学校】 49作品

図画：最優秀 1 優秀 2 優良 6 佳作11 : 計20作品
 作文：最優秀 1 優秀 2 優良 6 佳作 5 : 計14作品
 詩 : 最優秀 1 優秀 2 優良 5 佳作 7 : 計15作品

【高等学校】 52作品

図画：最優秀 1 優秀 2 優良 6 佳作11 : 計20作品
 作文：最優秀 1 優秀 2 優良 5 佳作 7 : 計15作品
 詩 : 最優秀 1 優秀 2 優良 6 佳作 8 : 計17作品



平和祈念資料館 開会式 (6月23日)



八重山平和祈念館開会式



沖縄県庁 開会式



表彰式の様子



県庁会場 (観覧の様子)



宮古島市展示会 開会式 (宮古島市役所にて)

(2) 親子ビデオ上映会

① 「子どもの日」ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成30年5月5日(土)
午後1時30分～午後4時20分

[上映作品]

- 「トビウオのぼうやはびょうきです」(19分)
- 「Paper Cranes Story～ケンタとマイコ～」(27分)
- 「石の声―沖縄戦マラリア地獄の記憶―」(24分)
- 「ちいちゃんのかげおくり」(17分)
- 「対馬丸―さようなら沖縄―」(75分)

[入場者数] 106名



② 慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧料無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日時] 平成30年6月23日(土)
午後1時30分～午後4時13分

[上映作品]

- 「そしてぼくらは生き残った」(61分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん
―集団疎開学童の証言―」(41分)
- 「ドキュメント沖縄戦」(57分)

[入場者数] 285名



(3) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室 (情報ライブラリー)

[期間] 平成30年7月21日(土)～8月31日(金) 午前10時～午後5時
[内容] 自由研究の進め方やテーマの選び方などについて、助言・説明する。
[相談者数] 76名

② 夏休み子ども教室 (情報ライブラリー)

[日時] 平成30年7月22日(日) 午後1時～4時
[内容] 沖縄戦について学習し、自由研究ノートづくりなどを行う。
[参加者数] 17名

- ③ 親子で平和講話・常設展示室見学『親子で学ぶ沖縄戦』（大会議室及び常設展示室）
 【日時】8月9日（木）、8月11日（土） 10:00～12:00
 【内容】親子で平和講話の受講と常設展示室を見学し、沖縄戦や沖縄の歴史について理解を深める。
 【参加者数】15名
- ④ 平和アニメ上映会（平和祈念ホール）
 【日時】8月6日（月）、8月10日（金）、8月12日（日） 14:00～16:00
 【内容】平和アニメ作品の鑑賞を通して、平和と人権について考える。
 上映アニメ
 「Paper Cranes Story ケンタとマイコ」「ピカドン」「かんからさんしん」
 「石の声」「煙突屋ペロー」「対馬丸～さよなら沖縄～」
 「消え去らぬ傷あと 火の海・大阪」「トビウオのぼうやはびょうきです」「猫は生きている」
 【参加者数】254名
- ⑤ 親子平和学習ツアー『親子で歩く、考える、平和ウォーキング！』
 【日時】8月8日（水） 10:00～12:00
 【内容】平和祈念公園近隣にある戦跡や慰霊碑などを見学し、親子で沖縄戦及び平和の大切さについて学習する。
 【参加者数】14名
 【コース】平和祈念資料館 → 平和の礎 → 黎明之塔 → 第32軍司令部壕
 沖縄師範健児の塔 → 南冥の塔 → 金井戸川（チンガー）



実物資料見学（親子平和講話）



不発弾見学（平和学習ツアー）



平和の広場見学（平和学習ツアー）



チンガー見学（平和学習ツアー）

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の見所などを、要点をおさえて 50 分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。



平和講話の様子（小学校）

[平成30年度 平和講話実施状況] 総計 130 校（137 回） [12,377 人]

- ・小学校 98 校（98 回） [7,603 人]
- ・中学校 15 校（19 回） [2,608 人]
- ・高等学校 11 校（14 回） [1,900 人]
- ・特別支援学校 6 校（6 回） [265 人]

(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

沖縄県内の小中高校で、所在地が離島または遠隔地にあり、当館での平和講話が受講困難な学校に対して、講師が学校に出向き平和講話を行うことができる取り組みを実施している。当館の展示室見学における事前または事後学習として、平和講話を実施している。

[平成30年度 離島・遠隔地講師派遣事業実施状況] 総計 3 校（4 回）

- ・名護市立真喜屋小学校（低学年・高学年）
- ・名護市立屋我地小学校 [ひるぎ学園]
- ・名護市立屋我地中学校 [ひるぎ学園]

(3) 生徒・学生の職場体験（インターンシップ）

生徒・学生の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。

平成30年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から18名の実習生を受け入れました。

[学校名・人数・期間]

・沖縄県立沖縄水産高等学校	(3名)	7月10日(火)	～	7月12日(木)
・琉球大学	(2名)	9月3日(月)	～	9月7日(金)
・糸満市立糸満中学校	(3名)	10月30日(火)	～	11月1日(木)
・沖縄県立糸満高等学校	(3名)	11月7日(水)	～	11月9日(金)
・沖縄県立豊見城南高等学校	(3名)	11月14日(水)	～	11月16日(金)
・沖縄県立向陽高等学校	(3名)	12月12日(水)	～	12月14日(金)
・沖縄県立久米島高等学校	(1名)	12月12日(水)	～	12月14日(金)

[実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・平和の礎周辺の清掃
- ・アンケートの集計作業
- ・展示資料の設置
- ・平和学習（平和講話・展示室見学・平和祈念公園戦跡フィールドワーク）



資料の整理作業



平和学習（フィールドワーク）



貸出資料の点検・整理



平和の礎の清掃

(4) 沖縄少年院連携事業

今年度より、沖縄少年院の院生を対象に平和学習の受け入れ事業を開始した。平和講話や館内観覧案内、摩文仁の戦跡フィールドワークを実施した。『沖縄戦を通して、平和・命について考える』と題した平和講話においては、沖縄戦に至るまでの経緯や沖縄戦の戦闘経緯、「人間が人間でなくなる」まで人を追い詰めてしまう戦争の惨劇を学習した。健児之塔周辺のフィールドワークでは、74年前に同世代の少年が学徒隊として動員され、過酷な戦場で生死をさまよったこと学び、平和な世の中を形成していくことの重要性を再確認した。

[平成30年度 沖縄少年院連携事業実施状況]

- ・総計3回(延べ9人)受け入れ

(5) 大学連携事業

県内大学生を対象に、当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を実施している。

[平成30年度 大学連携事業実施状況]

- ・沖縄大学 吉井ゼミ学生12人

〈日時〉平成30年6月3日(日)13:30~16:30

〈内容〉平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク(平和の礎、健児之塔等)

3 講座・講習会・研修会

(1) 特別講座

日時：平成30年10月21日（日）13:10～16:30

場所：沖縄県平和祈念資料館大会議室（2階）

タイトル：「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」

講師：①名桜大学教授 嘉納 英明（特別講座講師、パネリスト）

②南風原文化センター（南風原町教育委員会生涯学習文化課）

学芸班長 平良 次子（パネリスト）

③沖縄県平和祈念資料館友の会会長 安田 國重（パネリスト）

④ひめゆり平和祈念資料館学芸課長 古賀 徳子（パネリスト）

⑤沖縄県立読谷高等学校 教諭 松田 江利奈（パネリスト）

参加者：60名

平成30年度特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」の関連催事として、特別講座を上記の日程で開催した。今回の特別講座では、戦後の沖縄の教育の研究や平和教育に携わるとともに、沖縄戦の継承に取り組んでいる方々をお招きし、いずれ訪れるであろう“戦争体験者のいない社会”の到来を踏まえ、沖縄戦の実相や体験者の思いを語り継いでいくための取り組みを紹介していただくとともに、シンポジウム形式で、今後の社会の変容を踏まえた平和教育の在り方等について意見交換した。



(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

旅行・観光等の関係機関に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施した。また、講習会終了後は当館職員による常設展示室ポイント説明を実施した。

〈日 時〉平成31年3月7日(木) 13:30～17:00

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・観光案内ボランティア・観光等関係者など

〈講習内容〉資料館施設説明および平和祈念公園、展示内容、沖縄戦の特徴など



(3) 沖縄県博物館協会春の研修会

沖縄県博物館協会は、博物館事業の振興と地域文化の向上発展に寄与するべく、調査研究や普及活動、研修会等を通して会員相互の連携に努めている。今回、池田栄史教授による「戦跡遺跡の保存と活用」をテーマに講演が行われた。戦後70年以上経過する中で、戦争体験者だけでなく戦争遺跡も減少し、自然劣化・崩壊も進行している。それらの課題への対応として、戦争遺跡の整備やレクチャー施設の設置、人材の育成とその活用手法の考案、地域連携等が重要であると提言された。

[期 日] 平成30年5月10日(木)

[場 所] 沖縄県立博物館・美術館

[日 程] 総会・顕彰者表彰 13:00～14:40

講演会 15:00～16:30

演題：「戦跡遺跡の保存と活用」 講師：池田栄史（琉球大学法文学部教授）

(4) 平成30年度沖縄県地域史協議会

沖縄県地域史協議会は、地域史づくりの発展と地域文化の振興に寄与するべく、新たな史資料の発掘、収集に努めている。当館も会員として各機関と連携をとりつつ、情報と資料の共有および交換を図るなど活動に参加している。平成30年度は下記の内容で研修会がおこなわれた。

〈沖縄県地域史協議会第1回研修会〉

- ① 期 日 平成30年5月25日(金)
- ② 場 所 糸満市農村環境改善センター
- ③ 日 程
10:00～12:00 〈巡見〉①南山グスク ②糸満市宇大里集落 ③海人工房資料館
13:30～17:15
総 会
講演Ⅰ 「琉球期の山南とグスク」 上里隆史
報告Ⅰ 「『南城市のグスク』および『南城市の御嶽』について」
新垣瑛士(南城市教育委員会)
報告Ⅱ 「『島袋のろ殿内資料』に関する刊行物について」
城間義勝(北中城村教育委員会)
報告Ⅲ 「竹富町史『島じま編』シリーズの刊行についてー『竹富町史 第七巻 波照間島』
を中心にー」
飯田泰彦(竹富町教育委員会)

〈沖縄県地域史協議会第2回研修会〉

- ① 期 日 平成30年11月9日(金)
- ② 場 所 読谷村 文化センター(中ホール)
- ③ 日 程
10:00～12:00 〈巡検〉①世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム②喜名③瀬名波
13:00～17:15
講演 「読谷の歴史と文化」 泉川良彦(読谷村立図書館 館長)
報告Ⅰ 「①読谷村字マップ ②移民・出稼ぎ 世界のユンタンザンチュ」
中田耕平・松熊加奈子(読谷村教育委員会)
報告Ⅱ 「市史資料活用の一例～ヒストリートへの取り組み」 浦崎綾奈(沖縄市役所)
報告Ⅲ 「市史編集事業と歴史博物館」 外間政明(那覇市歴史博物館)

〈沖縄県地域史協議会設立40周年記念シンポジウム〉

- ① 期 日 平成31年3月1日(金)
- ② 会 場 沖縄県立博物館・美術館(講堂)
- ③ 日 程
13:00～17:00
基調講演 「琉球辞令書に見る王国体制」 高良倉吉(琉球大学名誉教授)
報告Ⅰ 「宮古・八重山の役人と百姓役目」 得能壽美(元石垣市史編集担当)
報告Ⅱ 「勤書(口上覚)にみる間切役人の動き」 仲原弘哲(沖縄県地域史協議会元代表)
報告Ⅲ 「近代諸制度の変遷から辞令書を読み解く」 金城善(沖縄県地域史協議会元代表)



第1回研修会の様子



第2回研修会の様子



(5) 県立学校初任者研修会における講義

県立高等学校及び県立特別支援学校、幼稚園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 平成30年5月10日(木) 15時00分～16時00分寄贈

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 県立学校初任者 67名

[講 義] 「学校における平和学習・教育に望むもの」

(6) 中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修

中堅教諭を対象とする沖縄県教育庁那覇教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育実践について、児童生徒の理解に基づいた積極的なかわりによる授業のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[日 時] 平成30年7月26日(木) 14時00分～16時45分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 平成30年度 中堅教諭等資質向上研修

那覇教育事務所管内 小学校10名、中学校4名、指導主事1名 計15名

[講 義] 「平和祈念資料館について」「授業で実践できる平和学習について」

(7) 初任者研修における講義

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 平成30年7月31日(火) 13時30分～16時45分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 平成30年度 初任者研修における講義

島尻教育事務所管内 小学校44名、中学校11名、計55名

[講 義] 「平和教育の現状と資料館の役割」

(8) 「島守の塔」慰霊継承新採用職員研修における講義、館内視察研修

県の新採用職員を対象として、「沖縄戦と公務員」をテーマに講義を行った。平和を希求する精神や公務員の原点たる奉仕及び公務遂行の精神を学び、沖縄県職員としての意識の高揚及び能力向上を図ることを主なねらいとしている。講義の後、常設展示室を視察し、沖縄戦の実相と戦時行政について理解を深めた。

[日 時] ①平成30年 6月 8日(金) 14時00分～15時20分

②平成30年 11月 9日(金) 14時00分～15時20分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[受講者] ①40名 ②40名 計80名

[講 義] 「戦時行政について」

(9) 「世界青年の船」受入事業

内閣府事業「青年の船」一行40人が来館し、当館職員による平和講話、館内外の観覧、グループディスカッションを実施した。グループディスカッションでは平和構築に向けた熱い話し合いが行われました。

[「世界青年の船」受入事業実施状況]

〈日 時〉平成31年1月31日(木) 10:30～14:00

〈参加者〉日本、オーストラリア、チリ、
エクアドル、ギリシア、
ソロモン、スウェーデン、
タンザニア、
アラブ首長国連邦の40人



平和講話の様子

VI 刊行物等

- 『沖縄県平和祈念資料館年報第18号』
平成29年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要、事業内容や活動内容等。A4版73頁、500部を平成30年6月に発行。
- 「沖縄県平和祈念資料館だより」
平成30年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。35号を平成30年8月に、36号を平成31年3月にA4版8頁、各2,500部発行。
- 平成30年度第19回 特別企画展 「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」、周知用ポスターを1,000枚、チラシを3,000枚、図録A4版60頁900部を10月に発行。
- 「第28回児童・生徒の平和メッセージ事業」募集ポスターとチラシを6,000部発行。
- 「第28回児童・生徒の平和メッセージ展」開催告知ポスターを650枚、チラシを5,000枚発行。
- 「第28回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」
展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等を掲載。A4版100頁、1,000部を3月に発行。
- 特別展「未来に託す戦世の記憶」開催告知チラシ5,000枚、リーフレット1,000枚、ワークシート2,000枚発行。

VII その他の事業

1 「戦世の記憶」 平和発信強化事業

【期間】平成30年4月～平成31年3月

【目的】沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するという沖縄県平和祈念資料館設立理念実現のため、沖縄戦の歴史的教訓及び沖縄のこころの発信強化を図る。

【概要】

(1) 特別展「未来に託す戦世の記憶展」

沖縄県平和祈念資料館が収録した70人の戦争体験者多言語証言映像（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレー語の8言語）を紹介し、沖縄戦の実相を多くの人に伝え恒久平和を考える機会として、川崎平和館、大阪国際平和センター（ピースおおさか）において、特別展「未来に託す戦世の記憶展」を開催しました。



川崎市平和館での展示の様子



大阪国際平和センターでの展示の様子

(2) 戦争体験者多言語証言映像 WEB 配信

平成28年度から平成29年度において、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレー語に多言語化した70人の戦争体験者多言語証言映像と証言文を、国内のみならず海外においても沖縄のこころを広く発信するために、当館のホームページに「戦世の記憶」のWEBページを作成しました。

(沖縄県平和祈念資料館ホームページ <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>)



戦争体験者多言語証言映像 TOP



証言者一覧



証言者映像及び証言文



証言映像全画面表示



英語



中国語

2 第5回「児童・生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」～海外展示活動～

(1) 展示会

①会場:ハワイコンベンションセンター(ハワイ州ホノルル市カラカウア通り 1801番地)

②開催日 平成30年9月1日(土)～9月2日(日)

③会場の様子



毎年開催のオキナワン・フェスティバル
今年は沖縄県系人を含む5万人が訪れた



共同展示: シャリン・タマシロ氏『沖縄戦』展
ハワイ・オロク県人会『ハワイ・オロク県人』展

④展示会の様子



熱心に観覧する様子



当館職員による観覧者への説明

VII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2018年4月	6,638 (308)	967 (29)	7,605 (337)	2,645 (245)	18,094 (2927)	20,739 (3172)	9,283 (553)	19,061 (2956)	28,344 (3509)	30	945	35,689
2018年5月	6,483 (174)	728 (154)	7,211 (328)	3,982 (492)	32,623 (6532)	36,605 (7024)	10,465 (666)	33,351 (6686)	43,816 (7352)	31	1,413	49,930
2018年6月	8,170 (2552)	2,017 (1257)	10,187 (3809)	3,626 (525)	26,355 (6274)	29,981 (6799)	11,796 (3077)	28,372 (7531)	40,168 (10608)	30	1,339	54,060
2018年7月	5,499 (251)	1,206 (19)	6,705 (270)	727 (61)	2,207 (970)	2,934 (1031)	6,226 (312)	3,413 (989)	9,639 (1301)	27	357	17,951
2018年8月	8,983 (456)	3,592 (30)	12,575 (486)	763 (29)	979 (72)	1,742 (101)	9,746 (485)	4,571 (102)	14,317 (587)	31	462	23,497
2018年9月	5,319 (77)	1,000 (68)	6,319 (145)	688 (82)	5,591 (786)	6,279 (868)	6,007 (159)	6,591 (854)	12,598 (1013)	28	450	18,420
2018年10月	5,235 (154)	425 (25)	5,660 (179)	3,125 (90)	37,523 (666)	40,648 (756)	8,360 (244)	37,948 (691)	46,308 (935)	27	1,715	49,152
2018年11月	6,733 (256)	909 (71)	7,642 (327)	4,632 (179)	43,449 (1248)	48,081 (1427)	11,365 (435)	44,358 (1319)	55,723 (1754)	30	1,857	59,603
2018年12月	5,895 (342)	828 (44)	6,723 (386)	3,143 (180)	31,530 (1014)	34,673 (1194)	9,038 (522)	32,358 (1058)	41,396 (1580)	28	1,478	46,362
2019年1月	5,957 (281)	746 (21)	6,703 (302)	1,451 (113)	10,581 (743)	12,032 (856)	7,408 (394)	11,327 (764)	18,735 (1158)	28	669	24,944
2019年2月	6,316 (772)	810 (28)	7,126 (800)	1,423 (41)	8,631 (169)	10,054 (210)	7,739 (813)	9,441 (197)	17,180 (1010)	28	614	23,505
2019年3月	7,818 (267)	1,967 (15)	9,785 (282)	2,332 (18)	8,282 (167)	10,614 (185)	10,150 (285)	10,249 (182)	20,399 (467)	31	658	29,439
合計	79,046 (5890)	15,195 (1761)	94,241 (7651)	28,537 (2055)	225,845 (21568)	254,382 (23623)	107,583 (7945)	241,040 (23329)	348,623 (31274)	349	999	432,552

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧										計	観覧者 総数	開館 日数	平均
	観覧券種別					出身別								
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小団体 (%)	県内	県外	外国						
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116		
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103		
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044		
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026		
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037		
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046		
2017年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002		
2018年度	73,156 (23)	26,482 (8)	13,434 (4)	204,277 (64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999		
累計								6,830,566	654,709	7,485,275	6,508	1,150		

参考
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2010年度	5,479
2001年度	3,157	2011年度	3,665
2002年度	4,750	2012年度	3,240
2003年度	4,259	2013年度	3,797
2004年度	4,849	2014年度	3,239
2005年度	3,815	2015年度	4,007
2006年度	2,813	2016年度	3,701
2007年度	3,785	2017年度	3,619
2008年度	4,257	2018年度	3,333
2009年度	4,649	-	-
		合計	75,380

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生												少年の船・ 青年の船等	合計					
	県内						県外												
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計								
4月	団体数	17 (17)	5 (5)	3 (1)	0 (0)	25 (23)	0 (0)	97 (1)	33 (6)	0 (0)	3 (0)	133 (7)	17 (17)	102 (6)	36 (7)	3 (0)	158 (30)	2 (0)	160 (30)
	人数	1,709 (1707)	695 (695)	392 (277)	0 (0)	2,796 (2679)	0 (0)	11,091 (5)	3,967 (243)	174 (0)	174 (0)	15,234 (248)	1,711 (1707)	11,786 (700)	4,359 (520)	174 (0)	18,030 (2927)	64 (0)	18,094 (2927)
5月	団体数	50 (49)	7 (7)	9 (7)	0 (0)	66 (63)	0 (0)	170 (1)	31 (3)	0 (0)	0 (0)	201 (4)	50 (49)	177 (8)	40 (10)	0 (0)	267 (67)	2 (0)	269 (67)
	人数	4,466 (4427)	1,339 (1339)	711 (658)	0 (0)	6,516 (6424)	0 (0)	21,843 (2)	4,216 (106)	0 (0)	0 (0)	26,061 (108)	4,468 (4427)	23,182 (1341)	4,927 (764)	0 (0)	32,577 (6532)	46 (0)	32,623 (6532)
6月	団体数	40 (34)	11 (14)	14 (14)	1 (0)	66 (58)	1 (0)	80 (0)	53 (1)	3 (0)	3 (0)	141 (1)	45 (34)	91 (10)	67 (15)	4 (0)	207 (59)	3 (2)	210 (61)
	人数	2,987 (2855)	1,888 (1856)	1,467 (1467)	56 (0)	6,398 (6178)	0 (0)	10,707 (0)	8,703 (34)	191 (0)	191 (0)	19,812 (34)	3,198 (2855)	12,595 (1856)	10,170 (1501)	247 (0)	26,210 (6212)	64 (62)	26,274 (6274)
7月	団体数	8 (3)	1 (3)	3 (3)	1 (0)	13 (7)	1 (0)	3 (0)	8 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (1)	10 (3)	4 (1)	11 (4)	1 (0)	26 (8)	5 (0)	31 (8)
	人数	354 (221)	46 (46)	687 (687)	31 (0)	1,118 (954)	0 (0)	104 (0)	736 (16)	0 (0)	0 (0)	916 (16)	430 (221)	150 (46)	1,423 (703)	31 (0)	2,034 (970)	104 (0)	2,138 (970)
8月	団体数	9 (0)	1 (1)	1 (1)	4 (0)	15 (1)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	7 (0)	12 (0)	2 (0)	2 (1)	6 (0)	22 (1)	5 (0)	27 (1)
	人数	341 (0)	16 (0)	72 (72)	131 (0)	560 (72)	90 (0)	88 (0)	23 (0)	85 (0)	85 (0)	286 (0)	431 (0)	104 (0)	95 (72)	216 (0)	846 (72)	130 (0)	976 (72)
9月	団体数	5 (5)	3 (3)	0 (0)	2 (0)	10 (8)	0 (0)	2 (0)	30 (4)	3 (0)	3 (0)	35 (4)	5 (5)	5 (3)	30 (4)	5 (0)	45 (12)	0 (0)	45 (12)
	人数	410 (410)	307 (307)	0 (0)	58 (0)	775 (717)	0 (0)	59 (0)	4,630 (69)	127 (0)	127 (0)	4,816 (69)	410 (410)	366 (307)	4,630 (69)	185 (0)	5,591 (786)	0 (0)	5,591 (786)
10月	団体数	16 (15)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	19 (16)	0 (0)	9 (0)	183 (1)	0 (0)	0 (0)	198 (1)	22 (15)	10 (1)	185 (1)	0 (0)	217 (17)	0 (0)	217 (17)
	人数	502 (475)	172 (172)	33 (0)	0 (0)	707 (647)	244 (0)	1,072 (0)	35,495 (19)	0 (0)	0 (0)	36,811 (19)	746 (475)	1,244 (172)	35,528 (19)	0 (0)	37,518 (666)	5 (0)	37,523 (666)
11月	団体数	24 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	1 (0)	11 (0)	201 (4)	0 (0)	0 (0)	213 (4)	25 (24)	11 (0)	201 (4)	0 (0)	237 (28)	1 (0)	238 (28)
	人数	1,096 (1090)	0 (0)	0 (0)	26 (0)	1,122 (1090)	51 (0)	1,415 (0)	40,795 (158)	0 (0)	0 (0)	42,261 (158)	1,147 (1090)	1,415 (0)	40,795 (158)	26 (0)	43,383 (1248)	34 (0)	43,417 (1248)
12月	団体数	9 (9)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	12 (11)	1 (0)	32 (0)	153 (8)	1 (0)	1 (0)	187 (8)	10 (9)	32 (0)	155 (10)	2 (0)	199 (19)	1 (0)	200 (19)
	人数	517 (517)	0 (0)	292 (292)	19 (0)	828 (809)	18 (0)	3,456 (0)	27,095 (205)	36 (0)	36 (0)	30,605 (205)	535 (517)	3,456 (0)	27,387 (497)	55 (0)	31,433 (1014)	47 (0)	31,480 (1014)
1月	団体数	4 (4)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	6 (5)	0 (0)	2 (0)	54 (6)	1 (0)	1 (0)	58 (6)	5 (4)	3 (1)	55 (6)	1 (0)	64 (11)	0 (0)	64 (11)
	人数	422 (422)	151 (151)	33 (0)	0 (0)	606 (573)	22 (0)	258 (0)	9,626 (170)	31 (0)	31 (0)	9,937 (170)	444 (422)	409 (151)	9,659 (170)	31 (0)	10,543 (743)	4 (0)	10,547 (743)
2月	団体数	3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (1)	4 (0)	11 (0)	44 (2)	4 (0)	4 (0)	63 (2)	7 (1)	11 (0)	44 (2)	5 (0)	67 (3)	0 (1)	67 (4)
	人数	172 (89)	0 (0)	0 (0)	26 (0)	198 (89)	188 (0)	1,511 (0)	6,599 (61)	87 (0)	87 (0)	8,385 (61)	360 (89)	1,511 (0)	6,599 (61)	113 (0)	8,583 (150)	8 (19)	8,591 (169)
3月	団体数	2 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	4 (3)	1 (0)	4 (0)	52 (0)	2 (0)	2 (0)	59 (0)	3 (1)	4 (0)	54 (2)	2 (0)	63 (3)	1 (0)	64 (3)
	人数	134 (84)	0 (0)	96 (83)	0 (0)	230 (167)	17 (0)	353 (0)	7,128 (0)	441 (0)	441 (0)	7,939 (0)	151 (84)	353 (0)	7,224 (83)	441 (0)	8,169 (167)	113 (0)	8,282 (167)
人数 合計	団体数	187 (162)	30 (28)	37 (30)	10 (0)	264 (220)	24 (0)	422 (2)	843 (36)	19 (0)	19 (0)	1,308 (38)	211 (162)	452 (30)	880 (66)	29 (0)	1,572 (258)	20 (3)	1,592 (261)
	人数	13,110 (12297)	4,614 (4566)	3,783 (3536)	347 (0)	21,854 (20399)	921 (0)	51,957 (7)	149,013 (1081)	1,172 (0)	1,172 (0)	203,063 (1088)	14,031 (12297)	56,571 (4573)	152,796 (4617)	1,519 (0)	224,917 (21487)	619 (81)	225,536 (21568)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	39	3,214	8	1,567	5	374	5	188	57	5,343	17	1,030	74	6,373
2 うるま市	12	842	1	172	5	767	0	0	18	1,781	5	281	23	2,062
3 宜野湾市	6	583	0	0	0	2	2	57	8	642	4	195	12	837
4 宮古島市	11	493	0	0	0	0	0	0	11	493	0	47	11	540
5 石垣市	10	497	0	0	0	0	0	0	10	497	0	57	10	554
6 浦添市	11	1,328	3	605	2	111	0	0	16	2,044	7	606	23	2,650
7 名護市	11	673	2	41	2	39	0	0	15	753	6	213	21	966
8 糸満市	10	650	3	275	3	634	0	0	16	1,559	1	155	17	1,714
9 沖縄市	17	1,106	4	795	6	893	1	27	28	2,821	9	484	37	3,305
10 豊見城市	10	865	1	268	0	0	0	0	11	1,133	4	185	15	1,318
11 南城市	9	560	1	112	0	0	0	0	10	672	1	61	11	733
12 国頭村	2	38	0	0	0	0	0	0	2	38	0	7	2	45
13 大宜味村	1	20	0	0	1	49	0	0	2	69	1	32	3	101
14 東村	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16	0	4	1	20
15 今帰仁村	3	94	1	90	0	0	0	0	4	184	1	50	5	234
16 本部町	4	133	0	0	1	42	0	0	5	175	0	30	5	205
17 恩納村	2	47	0	0	0	0	0	26	2	73	4	170	6	243
18 宜野座村	1	18	1	90	0	0	0	0	2	108	0	13	2	121
19 金武町	2	115	0	0	0	0	0	0	2	115	1	32	3	147
20 伊江村	2	31	0	0	0	0	0	0	2	31	0	7	2	38
21 読谷村	1	77	0	0	2	348	0	0	3	425	1	46	4	471
22 嘉手納町	1	70	0	0	2	125	0	0	3	195	23	715	26	910
23 北谷町	3	244	0	0	2	71	0	0	5	315	2	114	7	429
24 北中城村	1	123	1	196	3	102	0	0	5	421	1	55	6	476
25 中城村	1	49	1	148	0	0	0	0	2	197	1	41	3	238
26 西原町	3	285	1	204	0	0	2	49	6	538	3	125	9	663
27 八重瀬町	4	336	1	11	1	112	0	0	6	459	1	108	7	567
28 与那原町	2	231	0	0	1	57	0	0	3	288	0	18	3	306
29 南風原町	4	310	1	40	1	57	0	0	6	407	2	101	8	508
30 久米島町	3	62	0	0	0	0	0	0	3	62	0	15	3	77
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 栗国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	187	13,110	30	4,614	37	3,783	10	347	264	21,854	95	4,997	359	26,851

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	3	98	0	0	19	1,957	0	3	22	2,058	8	461	30	2,519
2 青森県	0	0	0	0	4	391	0	0	4	391	4	142	8	533
3 岩手県	1	9	2	266	3	161	0	0	6	436	0	30	6	466
4 宮城県	0	0	0		7	709	0	0	7	709	3	116	10	825
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	5	537	5	426	0	0	10	963	0	72	10	1,035
7 福島県	0	0	2	155	9	908	0	0	11	1,063	2	117	13	1,180
8 茨城県	0	0	0	0	42	7,370	1	17	43	7,387	6	644	49	8,031
9 栃木県	0	0	0	0	33	6,318	0	0	33	6,318	1	410	34	6,728
10 群馬県	0	0	0	0	21	2,910	0	0	21	2,910	3	241	24	3,151
11 埼玉県	0	2	1	60	89	20,907	1	33	91	21,002	6	1,471	97	22,473
12 千葉県	0	0	1	20	57	14,097	1	47	59	14,164	4	844	63	15,008
13 東京都	3	149	15	1,967	179	31,892	7	277	204	34,285	45	3,690	249	37,975
14 神奈川県	0	5	5	554	73	16,122	0	0	78	16,681	12	1,098	90	17,779
15 新潟県	0	0	1	118	6	1,043	0	0	7	1,161	1	95	8	1,256
16 富山県	0	0	1	157	1	22	0	0	2	179	1	39	3	218
17 石川県	0	0	0	0	4	589	0	0	4	589	0	28	4	617
18 福井県	0	0	0	0	1	269	0	0	1	269	1	34	2	303
19 山梨県	0	0	0	0	21	2,824	0	0	21	2,824	1	233	22	3,057
20 長野県	0	0	0	0	24	4,281	0	0	24	4,281	0	215	24	4,496
21 岐阜県	0	0	2	395	44	7,311	0	0	46	7,706	0	452	46	8,158
22 静岡県	0	0	1	119	51	6,367	1	38	53	6,524	4	642	57	7,166
23 愛知県	0	0	12	1,877	59	11,113	5	666	76	13,656	6	939	82	14,595
24 三重県	0	0	11	1,121	14	2,436	0	0	25	3,557	3	335	28	3,892
25 滋賀県	0	0	23	3,019	3	200	0	0	26	3,219	0	264	26	3,483
26 京都府	1	31	28	4,381	11	1,576	1	19	41	6,007	3	531	44	6,538
27 大阪府	2	78	78	10,575	9	1,599	0	0	89	12,252	15	1,490	104	13,742
28 兵庫県	3	112	53	8,490	11	1,696	0	0	67	10,298	3	805	70	11,103
29 奈良県	0	0	24	2,537	1	143	1	14	26	2,694	5	365	31	3,059
30 和歌山県	0	0	2	89	1	26	0	0	3	115	2	116	5	231
31 鳥取県	0	0	6	423	1	20	0	0	7	443	1	73	8	516
32 島根県	0	0	1	139	2	48	0	0	3	187	0	15	3	202
33 岡山県	0	2	58	5,665	4	153	0	0	62	5,820	4	621	66	6,441
34 広島県	0	0	12	659	12	1,598	0	0	24	2,257	3	431	27	2,688
35 山口県	0	0	1	136	1	18	0	0	2	154	2	95	4	249
36 徳島県	0	0	8	1,117	0	0	0	0	8	1,117	0	86	8	1,203
37 香川県	0	0	22	3,357	0	0	0	0	22	3,357	1	281	23	3,638
38 愛媛県	0	0	0	0	4	129	0	0	4	129	3	85	7	214
39 高知県	0	2	10	788	0	0	0	0	10	790	3	135	13	925
40 福岡県	2	115	9	1,109	11	1,199	0	0	22	2,423	14	1,317	36	3,740
41 佐賀県	0	0	1	36	0	0	0	0	1	36	1	44	2	80
42 長崎県	0	0	2	92	1	50	0	0	3	142	2	233	5	375
43 熊本県	1	18	18	1,691	2	52	0	0	21	1,761	2	266	23	2,027
44 大分県	0	0	1	66	2	62	0	0	3	128	5	197	8	325
45 宮崎県	0	0	4	158	1	21	1	58	6	237	5	344	11	581
46 鹿児島県	8	300	2	84	0	0	0	0	10	384	2	162	12	546
合計	24	921	422	51,957	843	149,013	19	1,172	1,308	203,063	187	20,304	1,495	223,367
47 沖縄県	187	13,110	30	4,614	37	3,783	10	347	264	21,854	95	4,997	359	26,851

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。

10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。

1995（平成7）年

4月25日 与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。

12月25日 平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。

慰藉事業の内訳 ① 慰霊碑建立
② 八重山平和祈念館建設
③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業
④ マラリア死没者慰藉のための追悼事業

1997（平成9）年

3月31日 建物竣工

1998（平成10）年

1月27日 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）

5月 八重山平和祈念館基本計画策定

11月20日 八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

3月 「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。

5月28日 八重山平和祈念館開館式典

5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 述面積 : 520 m²
- ② 各室面積
第1展示室 : 130 m²
第2展示室 : 120 m²
保管室 : 20 m²
図書室 : 30 m²
会議室 : 45 m²
事務室 : 30 m²

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

大人	100 円	団体	70 円	※団体は 20 名以上
子ども	50 円	団体	35 円	

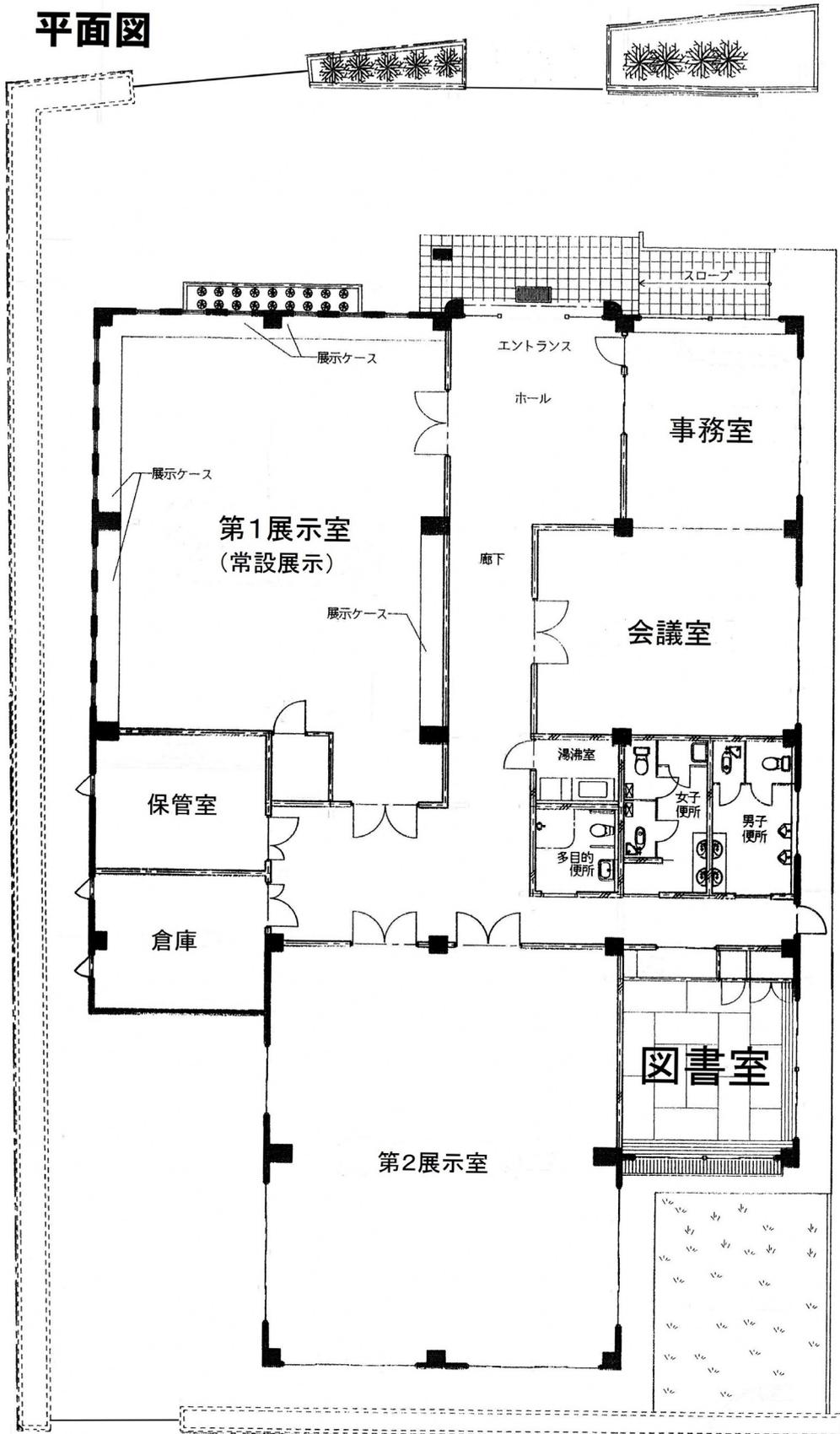
(6) 常設展の展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示の内容

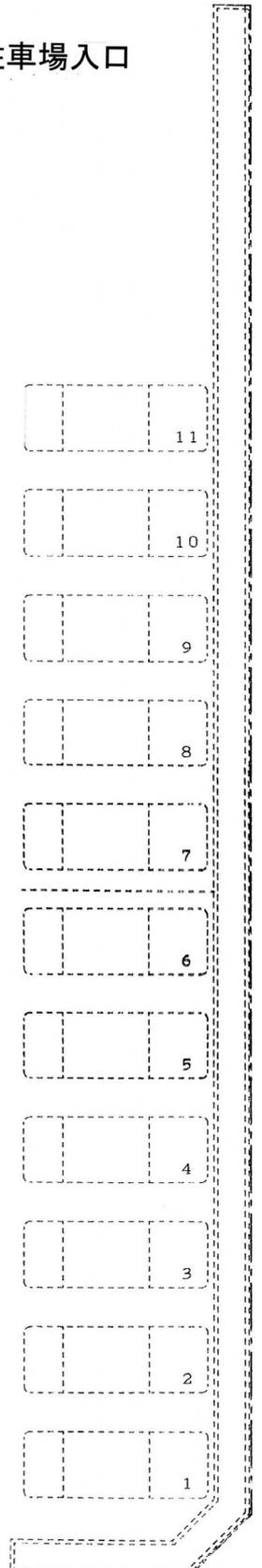
- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③ 遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）

平面図



駐車場入口

駐車場



3 事業概要

(1) 展示活動

① 「しまの戦争の記憶～悲しみを乗り越えて～」

石垣島に存在する忠魂碑・慰霊碑・戦争遺跡のパネルを展示するとともに、戦争マラリア体験者の証言を紹介した。

6月は学校における平和学習が活発に行われる時期であり、多くの児童・生徒が来館した。

【期間】平成30年6月2日（土）～7月1日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】897名



② 「こどもと戦争 ～愛され、護られるべき小さき人たち～」

こどもをテーマとした企画展を実施し、近代から現在までの学校制度の変遷がわかるパネルや当時の子どもたちの様子を写した写真等を展示した。

戦時中の教育の様子を当時の読本等をとおして紹介し、戦争が子どもたちへどのような影を落としたか等を紹介した。

【期間】平成30年11月1日（木）～11月30日（金）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】437名



③ 「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」八重山会場

12月に本館で開催された特別企画展が八重山会場でも開催され、多くの方々が来場した。

沖縄戦の実相を振り返り、様々な被害の様子を紹介することで、平和の尊さを改めて感じ、次世代へどのように継承していくことができるのかを考えていただく機会とした。

【期間】平成31年1月19日（土）～2月24日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】330名



(2) 平和教育活動

① 慰霊の日アニメビデオ上映会

6月23日の慰霊の日に、戦争に関するアニメの上映会（上映作品『石の声』『最後の空襲くまがや』）を実施した。

当日は常設展示が入場無料であり、多くの方々が来館した。

【期間】平成30年6月23日（土）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室



② 「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行った。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧していた。

【期間】平成30年7月13日（金）～7月22日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】121名



③ 「夏休み企画」(平和についての調べ学習コーナー等)

沖縄戦に関する本や本館で実施した特別企画展の図録等を展示し、こどもたちが沖縄戦について学ぶための学習コーナーを設けた。あわせて、石垣島の慰霊碑等のパネルの展示や戦争に関するアニメの上映も行った。

【期間】平成30年8月3日（金）～8月26日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】295名



(3) 調査研究活動

① 現地調査・類似館視察等

月別入館者数 平成30年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)											第2展示室	
	個人入館者数				団体入館者数				入館者総数			合計	企画展等 入館者数 ※入場無料
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計				
平成30年 4月	133 (8)	4 (1)	137 (9)	32 (18)	239 (0)	271 (18)	165 (26)	243 (1)	408 (27)				
平成30年 5月	164 (17)	19 (2)	183 (19)	37 (37)	27 (27)	64 (64)	201 (54)	46 (29)	247 (83)				
平成30年 6月	242 (52)	80 (59)	322 (111)	97 (97)	460 (460)	557 (557)	339 (149)	540 (519)	879 (668)	企画展「しらの戦 争の記憶」1897名			
平成30年 7月	149 (44)	61 (45)	210 (89)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	149 (44)	61 (45)	210 (89)	企画展「平和メッ セージ展」121名			
平成30年 8月	194 (9)	57 (16)	251 (25)	47 (5)	107 (62)	154 (67)	241 (14)	164 (78)	405 (92)	夏休み企画295 名			
平成30年 9月	104 (2)	12 (1)	116 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	104 (2)	12 (1)	116 (3)				
平成30年 10月	133 (2)	6 (0)	139 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	133 (2)	6 (0)	139 (2)				
平成30年 11月	180 (5)	10 (1)	190 (6)	5 (2)	97 (57)	102 (59)	185 (7)	107 (58)	292 (65)	企画展「こども と戦争」437名			
平成30年 12月	203 (22)	10 (3)	213 (25)	9 (0)	174 (0)	183 (0)	212 (22)	184 (3)	396 (25)				
平成31年 1月	245 (16)	15 (6)	260 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	245 (16)	15 (6)	260 (22)				
平成31年 2月	167 (7)	8 (1)	175 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	167 (7)	8 (1)	175 (8)	「沖縄県民の戦 争被害と次代へ の継承」330名			
平成31年 3月	213 (5)	21 (3)	234 (8)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	216 (8)	21 (3)	237 (11)				
合計	2,127 (189)	303 (138)	2,430 (327)	230 (162)	1,104 (606)	1,334 (768)	2,357 (351)	1,407 (744)	3,764 (1,095)		2,080		

()は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	15,000円
ポイントガイド	1回につき（時間により）	5,000～10,000円
バス乗車	1回につき	10,000円
その他	要相談	

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成30年度講話・ガイド活動実績件数

◎平成30年4月～平成31年3月までの活動状況

団体	団体件数	実施人数	派遣講師
高等学校	71（県内5）	13,657	81
中学校	55（県内11）	7,696	55
小学校	22（県内20）	10,243	22
その他	63（県内15）	1,230	63
計	211（県内51）	32,826	221

5 平成30年度活動内容

- (1) 常設展示室解説員 配置実績70人
- (2) 協力事業：平成30年5月3日(金)「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
通年 平和祈念財団・平和祈念公園愛護活動への協力
- (3) 平成30年度友の会総会：平成30年5月12日(土)
- (4) 学習会1：平成30年5月19日(土)
平和学習フィールドワーク 講師・仲村真氏 仲西富士子氏
「浦添城間アイテムポケットとマチナト飛行場」
学習会2：平成30年10月21日(日)
沖縄県平和祈念資料館特別講座
「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」
学習会3：平成30年11月24日(土)
平和学習フィールドワーク 講師・大城藤六氏 翁長安子氏
「終戦後の遺骨収集」
学習会4：平成31年3月5日(火)
平和講話 講師・二瓶治代氏 仲村真氏
「東京大空襲・火災旋風下の体験談と本土爆撃基地沖縄の今」
- (5) 講演1：平成30年8月4日(土)
川崎市平和を語る市民のつどい 講師・友の会会長 安田國重氏
「未来に託す戦世の記憶」
講演2：平成30年8月15日(水)
沖縄県立博物館・美術館 ゲゲゲの人生展
「沖縄戦を語る」：講師・友の会副会長 上原美智子氏
- (6) 平和講話及びガイド、マスコミ等取材対応



総会の様子

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

- 2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。
- 3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。
 - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 公益を害するおそれがあるとき。
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

- 第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
 - (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
 - (3) 許可に付した条件に違反したとき。
 - (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

- 第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

- 第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

- 第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
 - (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

- 第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

- 第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。
- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
 - (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
 - (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

- 第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。
- 2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

- 第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。
- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
 - (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
 - (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

- 第19条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

- 第20条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

- 第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

- 第22条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

- 第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

- 第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。
- (1) 天災その他使用者の責めに帰することができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

- 第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。
- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合せ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

- 第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

- 第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。
- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

- 2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
 - (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
 - (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
 - (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
 - (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
 - (5) 役員の名、住所及び履歴を記載した書類
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホール	舞台	1台	300円	
	司会者卓	1台	150円	
	花台	1台	100円	
	金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円
ローアホリゾンライト（150W×60灯）		1列	300円	
フットライト（60W×48灯）		1列	100円	
フォロースポットライト（1KW）		1式	100円	
その他		映写機16mm	1台	1,260円
	スライドプロジェクター	1台	520円	
会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	400円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
オーバーヘッドプロジェクター		1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

沖縄県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	900(5)	県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)							18,468	248	74			
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)							18,091	306	59			
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)							22,047	307	72			
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)							34,851	220	158			
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)							53,708	305	176			
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)		3,506	22,746	176			53,428	307	174			
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)		33,671	24,797	310			58,778	304	199			
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)		33,709	38,030	522			72,261	307	240			
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)		34,795	40,029	685			75,509	307	252			
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)		32,640	46,335	1,210			80,191	255	326			
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)		34,993	60,371	1,561			96,925	306	326			
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)		34,783	63,581	1,780			100,144	306	335			
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)		33,298	83,019	2,061			118,378	306	403			
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)		32,819	95,473	2,952			131,244	306	440			
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)		27,941	84,600	3,640			116,181	307	397			
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)		22,855	74,010	3,391			100,256	306	388			
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)		20,182	64,938	3,501			88,621	305	320			
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)		17,197	61,011	3,752			81,960	307	303			
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)		15,272	62,130	3,600			81,002	310	274			
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)		13,551	62,528	3,785			79,864	310	267			
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)		45,214	104,854	4,046			154,114	308	525			
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)		26,540	121,886	3,506			151,932	311	507			
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)		20,128	153,889	2,951			176,968	310	593			
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)		15,211	151,195	2,828			169,234	312	558			
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)		12,125	160,724	2,585			175,437	295	611			
											2,307,039					
											104,723					
											2,411,762					

沖縄戦の実相にふれるたびに
戦争というものは
これほど残酷だが、これほど活版にみられたのはな
らぬと思っております

この「なまなまし」に体験の前では
いかなる人でも
戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です
しかし、それ以上に
戦争を許さない奴力のできようをも
私たちが 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは
あらゆる戦争を増み
平和な自由を建設せねば、と思いつけてきました

これが
あまりにも大きすぎた代償を払って得た
ゆずることのできない
私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第19号

2019(令和元)年8月



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

八重山平和祈念館（分館）

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp